

金沢区総合庁舎改築工事 (第3工区建築工事)

意匠図・構造図

平成28年8月

株式会社 国設計

図面目録							
意匠図				構造図			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-000	表紙	A-049	2階展開図(4)	建築音響図		S-B01	構造設計標準仕様
A-001	図面目録	A-050	2階展開図(5)	AD-001	公会堂音響工事特記仕様書	S-B02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-002	特記仕様書(1)	A-051	3階平面詳細図(1)	AD-002	公会堂建築音響詳細図	S-B03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-003	特記仕様書(2)	A-052	3階平面詳細図(2)			S-B04	鉄骨構造標準図(1)
A-004	特記仕様書(3)	A-053	3階平面詳細図(3)	公会堂椅子		S-B05	鉄骨構造標準図(2)
A-005	特記仕様書(4)	A-054	3階展開図(1)	AS-001	公会堂椅子配置図	S-B06	場所打ちコンクリート杭仕様書
A-006	特記仕様書(5)	A-055	3階展開図(2)	AS-002	公会堂椅子詳細図	S-B07	型枠デッキ設計・施工標準図
A-007	特記仕様書(6)	A-056	4階・5階平面詳細図			S-B08	合成スラブ設計・施工標準図
A-008	特記仕様書(7)	A-057	4階展開図	舞台機構図		S-B09	梁貫通孔補強材設計・施工標準仕様書
A-009	特記仕様書(8)	A-058	5階展開図	SE-001	舞台機構設備特記仕様書	S-B10	杭伏図
A-010	工事区分表(1)	A-059	客席天井内平面詳細図	SE-002	舞台機構吊物装置仕様書	S-B11	基礎伏図
A-011	工事区分表(2)	A-060	舞台上部(スノコ)平面詳細図	SE-003	舞台機構平面詳細図	S-B12	1階床伏図
A-012	工事概要・案内図・配置図	A-061	客席壁面詳細図	SE-004	舞台機構断面詳細図	S-B13	2階床伏図
A-013	敷地面積求積図	A-062	客席展開図	SE-005	舞台機構スノコ機器配置図	S-B14	3階床伏図
A-014	平均地盤面算定図	A-063	1階天井伏図	SE-006	舞台機構スノコ詳細図(1)	S-B15	4階床伏図
A-015	面積表	A-064	2階天井伏図	SE-007	舞台機構スノコ詳細図(2)	S-B16	5階床伏図
A-016	床面積求積図	A-065	3階天井伏図	SE-008	舞台機構スノコ詳細図(3)	S-B17	R1階床伏図
A-017	共通事項・外部仕上表	A-066	4階天井伏図	SE-009	舞台機構スノコ荷重分布図	S-B18	R2階床伏図
A-018	内部仕上表(1)	A-067	5階天井伏図	SE-010	プロセニウムパネル図	S-B19	軸組図(1)
A-019	内部仕上表(2)	A-068	建具配置図	SE-011	反射板全体図	S-B20	軸組図(2)
A-020	内部仕上表(3)	A-069	建具 共通事項	SE-012	反射板部分詳細図	S-B21	軸組図(3)
A-021	ピット平面図	A-070	建具表(1)	SE-013	反射板平面図	S-B22	軸組図(4)
A-022	1階平面図	A-071	建具表(2)	SE-014	反射板側面図	S-B23	柱芯線図
A-023	2階平面図	A-072	トイレブース等詳細図	SE-015	反射板正面図	S-B24	杭リスト
A-024	3階平面図	A-073	サイン配置図	SE-016	舞台機構系統図	S-B25	基礎リスト
A-025	4階平面図	A-074	サイン詳細図(1)	SE-017	舞台機構盤類外形図	S-B26	地中梁断面リスト
A-026	5階平面図・客席天井内平面図	A-075	サイン詳細図(2)	SE-018	舞台機構配管配線図(1)	S-B27	柱断面リスト(1)
A-027	屋根伏図	A-076	部分詳細図(1) 壁・床	SE-019	舞台機構配管配線図(2)	S-B28	柱断面リスト(2)(3)
A-028	立面図(1)	A-077	部分詳細図(2) 建具枠・内部	SE-020	舞台機構配管配線図(3)	S-B29	大梁断面リスト(1)
A-029	立面図(2)	A-078	部分詳細図(3) 屋上・外部	SE-021	平面図配管	S-B30	大梁断面リスト(2)(6)
A-030	断面図	A-079	便所廻り詳細図	SE-022	断面図配管	S-B31	大梁断面リスト(3)
A-031	矩計詳細図(1)	A-080	客席天井LGS詳細図	SE-023	すのこ配管	S-B32	大梁断面リスト(4)(5)
A-032	矩計詳細図(2)	A-081	屋根・外壁金属板詳細図			S-B33	小梁断面リスト
A-033	矩計詳細図(3)	A-082	ウッドデッキ平面図・詳細図	参考図		S-B34	スラブリスト・壁リスト
A-034	矩計詳細図(4)	A-083	手摺 配置図	参-001	仮設計画図(1)(工事着手前配置図)	S-B35	鉄骨部材リスト・継手リスト
A-035	矩計詳細図(5)	A-084	手摺 詳細図(1)	参-002	仮設計画図(2)(仮囲い等参考図)	S-B36	○X7通り配筋詳細図
A-036	屋内階段詳細図	A-085	手摺 詳細図(2)			S-B37	○X7通り鉄骨詳細図
A-037	東外階段詳細図					S-B38	雑詳細図
A-038	西外階段・南外階段詳細図					S-B39	目隠し壁詳細図(1)
A-039	1階平面詳細図(1)					S-B40	目隠し壁詳細図(2)
A-040	1階平面詳細図(2)					S-B41	3階点検歩廊伏図
A-041	1階平面詳細図(3)					S-B42	4階点検歩廊伏図
A-042	1階展開図					S-B43	5階(1)点検歩廊伏図
A-043	2階平面詳細図(1)					S-B44	5階(2)点検歩廊伏図
A-044	2階平面詳細図(2)					S-B45	点検歩廊軸組図
A-045	2階平面詳細図(3)					S-B46	点検歩廊詳細図(1)
A-046	2階展開図(1)					S-B47	点検歩廊詳細図(2)
A-047	2階展開図(2)					S-B48	舞台機構スノコ鉄骨詳細図(1)
A-048	2階展開図(3)					S-B49	舞台機構スノコ鉄骨詳細図(2)

■注記		管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫		横浜市建築局		工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)	
		年月日 平成28年8月		縮尺 -		図面名称 公会堂棟 図面目録	
		設計者 株式会社 国設計		図面枚数 1		図面番号 A-001	

横浜市建築工事特記仕様書(平成27年版)

1 工事名称	金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
2 工事場所	横浜市金沢区泥亀二丁目76番地1
3 地域・地区	商業地域、基準建ぺい率 80%、基準容積率 400% (第7種高度地区) (防火・準防火・指定なし)
4 建物概要	(1) 敷地面積 7,143.87㎡ (全体の敷地面積) (2) 建築面積 1,924.03㎡ (3) 延床面積 4,375.25㎡ (4) 構造 SRC造 (5) 階数 5階
工事範囲	金沢区総合庁舎改築工事(第2工区建築工事) 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区・第3工区電気設備工事) 金沢区総合庁舎改築工事(舞台音響・映像設備工事) 金沢区総合庁舎改築工事(舞台照明設備工事) 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区昇降機設備工事) 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区・第3工区空調設備工事) 金沢区総合庁舎改築工事(第2工区・第3工区衛生設備工事)

特記仕様書の取り扱い (1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は ⊙ 印の付いたものを適用する。
○ 印の付かない場合は ※ 印の付いたものを適用する。
○ 印と ※ 印の付いた場合は共に適用する。
(3) 特記事項に記載の () 内の表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(以下「標仕」という。)の項目番号及び表番号を示す。
(別は、標仕巻末の別図を示す。)

章	項目	特記事項
1 一般事項	① 適用基準等	本特記仕様書によるほか下記による。 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版) [平成26年3月改定] 国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築工事標準詳細図(平成22年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部 公共建築木造工事標準仕様書(平成25年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部 横浜市建築局建築工事特記仕様書(最新版) (以下「特記仕様書」という。) 営繕工事写真撮影要領(平成24年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部
	② 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	③ 設備工事との施工区分	施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ※図示した壁、天井仕上材の切込み及び下地材の補強 ※駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ※自動閉鎖装置取付箇所の切込み及び補強 ○その他(工事区分表(1)(2)による) 施工図 ※設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
	④ 工事実績情報の登録	※行う ・行わない (1.1.4) コリンズ工事実績情報システムによる「メール送付の承諾」 ※する ・しない
	⑤ 建築基準法に基づく区分	※建築基準法に基づき定められる風圧区分等 ・8章 ・9章 ・10章 ・13章 ・14章 ・16章 ・17章 ・23章 ○風速 (Vo= ※34m/s ・ m/s) ○地表面粗度区分 (・I ・II ※III ・IV) ○垂直積雪量 (※30cm ・ cm)
	⑥ 電気保安技術者	※適用する ・適用しない (1.3.3)
	7 (1.3.5)(a)以外の施工条件	・ (1.3.5)
	⑧ 施工中の安全確保	横浜市工事安全管理規則による安全管理指定工事 (1.3.7) ○指定する ○指定しない

9 発生材の処理等

○ 本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年5月31日法第104号)」(以下「建設リサイクル法」という。)の対象建設工事であり、特定建設資材の再資源化等について適切な処置を行う。ただし、工事契約後にやむを得ない事情により予定した条件により難しい場合は、監督員と相談する。再資源化の完了時に以下の事項を書面にて監督職員に報告する。
記載内容 再資源化等が完了した年月日
再資源化等をした施設の名称及び所在地
再資源化等に要した費用
再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び施設等 (1.3.8)

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等する施設の名称及び所在地
○コンクリート	・「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設
○建設発生木材	・「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設
・アスファルト	・「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設

特定建設資材廃棄物以外の発生材の処分

種類	再資源化	所在地
・する	・しない	
・する	・しない	

○現場において再利用を図るもの ・有() ・無()
・引渡しを要するもの ・有() ・無()
・特別管理産業廃棄物 ・有() ・無()
・同上処理方法 ・有()
○建設汚泥の処分 ・有() ・無()
建設汚泥の処分については、次のとおりである。
・受入場所 市 区 町 番地
・運搬距離 L= km
・受入条件 時 ~ 時
月 日 ~ 月 日及び日曜、祝日または、 曜日を除く。

10 施工中の環境保全等

・セメント及びセメント系固着材を地盤改良に (1.3.11) 使用する。若しくは、セメント及びセメント系固着材を使用した改良土を再利用する。
本工事は、「六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり下記に示す工種について、六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。
なお、試験方法はセメント及びセメント系固着材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領(案)(平成13年4月20日国官技第16号国営建第1号別紙以下「要領」という。)によるものとする。また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数:

工種	工法	配合計画段階	施工後段階
地盤改良工	固結法	検体	検体
		検体	検体
		検体	検体
舗装工	舗装工各種	検体	検体
		検体	検体
仮設工	地中連続壁	検体	検体
(要領表-Iの対象工法を記載する。) 合計 検体			

タンクリーチング試験(改良土量5000㎡程度以上または改良体本数500本程度以上)対象工種名及び検体数:

工種	工法	施工後段階
地盤改良工	固結法	検体
		検体
		検体
舗装工	舗装工各種	検体
		検体
仮設工	地中連続壁	検体
合計 検体		

11 材料の品質等

本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークのない材料及びその製造業者等は、次の(1)から(6)の事項を満たすものとする。(1.4.2)

- 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 法令等で定める許可、認可、認定または免許を取得していること。
- 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質および性能を有することの証明となる資料、または外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
また備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は使用する場合は監督職員の承諾を得ること。

12 木材又は木材を原料とする資材

○ 本工事に使用する木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、神奈川県産木材又は地域材(関東甲信地方に属する都県及び静岡県で生産された素材等)を利用することとし、使用した材料の種類、産地等を監督員に報告する。ただし、神奈川県産材又は地域材とすることが困難な場合には、監督員の承諾を受けた国産材とする。

木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用する。

13 特別な材料の工法

「標仕」に記載されていない特別な工法は、材料製造所の指定する工法とする。

14 空気汚染低減措置

※適用する ・適用しない (1.4.1)

化学物質	建築材料等	性能
ホルムアルデヒド	①合板 木質系フローリング 構造用パネル 集成材 単板積層材 MDF パーティクルボード その他の木質建材(下地材含)	※ホルムアルデヒド放散量は『F☆☆☆☆』とする。 ※アセトアルデヒド及びブチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
ホルムアルデヒド	②作り付け家具 作り付け書架 実験台	※ホルムアルデヒド放散量は『F☆☆☆☆』とする。 ※アセトアルデヒド及びブチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
ホルムアルデヒド	③ウリア樹脂	※ホルムアルデヒド放散量は『F☆☆☆☆』とする。 ※アセトアルデヒド及びブチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
ホルムアルデヒド	④壁紙 ⑤木工事、内装工事に使用する接着剤 ⑥保温材、防露材 緩衝材 断熱材 ⑦塗料 ⑧仕上塗材	※ホルムアルデヒド放散量は『F☆☆☆☆』とする。 ※アセトアルデヒド及びブチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ※⑤は併せて、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。 また、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシン等を含有しない難揮発性の可塑性剤を使用しているJIS規格品とする。 ※⑦は併せて、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。
ホルムアルデヒド	⑨木材保存(木材の防霉・防蟻処理)剤	※クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノフルカルブを含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後現場へ搬入する。

※ 工事中の安全管理
接着剤及び塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した化学物質等を室外に放出させる。

15 技能士 (1.5.2)

適用工事種別	技能検定の種類
鉄筋工事	○鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	○型枠施工
鉄骨工事	○とび
組積工事	・ブロック建築 ・エーエルシーパネル施工
防水工事	○アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り作業)
タイル工事	○タイル張り
木工事	○建築大工
屋根及びとどろ工事	○建築板金(内外装板金作業)
金属工事	○内装仕上施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	○左官
建具工事	○サッシ施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	○塗装(建築塗装作業)
内装工事	・内装仕上施工(カーペット系床仕上げ工事作業) ○内装仕上施工(ボード仕上げ工事作業) ・畳製作
植栽工事	・造園

16 化学物質の濃度測定 (1.5.9)

※実施する ・実施しない
測定対象化学物質、測定方法、測定対象室及び測定箇所は「横浜市建築局所管工事揮発性有機化合物(VOC)等の室内濃度測定マニュアル」(平成24年版)による。

17 中間技術検査 (1.6.2)

中間技術検査を実施する段階
○杭工事 ・鉄筋工事 ・コンクリート工事 ・型枠工事
・鉄骨工事 ・基礎コンクリート打設前 ・2階床コンクリート打設前 ・その他 ()
中間技術検査実施回数
※1回。ただし、施工状況により、追加する場合がある。

18 完成時の提出図書 (1.7.1)

※作成する (完成図書・保全に関する資料の作成は特記仕様書による)
・作成しない
横浜市公共建築物保全システム施設台帳・カルテ作成 (1.7.3)
※作成する ・作成しない

19 完成図の様式等 (1.7.2)

原因の作成方法 ※CAD
CADデータの提出 ※提出する ・提出しない

20 完成写真 (1.7.2)

※デジタルデータで提出する
(提出方法は営繕工事写真撮影要領に準ずる)
○200万画素(キャビネ判)程度以上
○400万画素(A4版)程度以上

○下記のものを監督員に提出する。
○アルバム300×300、黒表紙文字を4
(○施設管理者 ○発注者 ○工事担当課 ○設計事務所)
分類・規格 撮影箇所
※カラー 外部 ※4箇所 内部 ○50か所
※キャビネ版 ・ ・

・工用アルバム A4版 冊提出
分類・規格 撮影箇所
※カラー 外部 ※4箇所 内部 ・ ・
※L版 ・ ・

完成写真の使用については、横浜市(建物所有者)の発行する印刷物等(広報誌など)に限り、使用を認めるものとする。

撮影業者
※監督員の承諾する撮影業者(建築完成写真撮影の実績のあるもの)とする。
・指定しない

21 電子納品

※対象工事とする
○工事記録写真 ○施工図 ○完成図 ○製作図
○打合せ記録 ・その他 ()
・対象工事としない

22 ワンデーレスポンス
23 その他

※対象工事とする ・対象工事としない

横浜市建築局		工事名	金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)	
年月日	平成28年8月	縮尺	NO.SCALE	
設 計 者		図面名称	建築工事特記仕様書(その1)	
株式会社 国設計	一級建築士登録 166404 号 吉村久夫	施設番号	棟番号	完成年度
		図面番号	種類	図面番号
				A-002

<p>仮設工事</p> <p>① 足場その他 ※枠組み足場については、「手すり先行工法」とし、詳細は特則仕様書による (2.2.4)</p> <p>② 監督員事務所 ※設ける (2.3.1) ・ 設けない ・ 監督員事務所の規模 ・ 10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ 30㎡程度 ○ 50㎡程度</p> <p>③ 監督員事務所の備品 ○ 机: 4個 ○ いす: 6個 ○ 書棚: 2個 ○ 白板: 2個 ○ 掛時計: 1個 ○ 寒暖計: 1個 ○ ゴム長靴: 6個 (2.3.1) ○ 雨がっぱ: 6個 ○ 保護帽: 6個 ○ 懐中電灯: 2個 ○ 安全帯: 3個 ○ 衣類ロッカー: 2個 ・ 消火器 1個 ○ 湯沸器: 1個 ○ 掃除具: 1個 ○ 冷暖房機器: 1個 ○ 請負者加入電話: 1個 ○ パソコン: 2台</p> <p>④ 工事表示板 ※工事現場の適切な場所に、工事名称、発注者等を示す表示板を設ける。(900mm×1800mm、白地にゴシック黒文字) (2.3.1)</p> <p>⑤ 工事用水 構内既存施設 ※利用できない ・ 利用できる(・有償 ・無償)</p> <p>⑥ 工事用電力 構内既存施設 ※利用できない ・ 利用できる(・有償 ・無償)</p> <p>⑦ 仮囲い ※位置・仕様については参考図を参照のこと。</p> <p>8 その他</p>	<p>6 鋼杭地業</p> <p>工法の適用 ・ 打込み工法 ・ 特定埋込杭工法 (4.4.1) 材料 ・ SKK400 (4.4.2) (表4.4.1) 先端部形状 ※開放形 (4.4.2) (表4.4.2) 補強方法 ※補強バンド (4.4.2) 現場継手の工法 ※現場溶接 (4.4.5) ・ 機械式継手</p> <p>セメントの種類 ※図示による (4.5.3) コンクリートの設計基準強度 30N/mm² (4.5.3) コンクリートの種類 ※A種 ・ B種 (4.5.3) (表4.5.1) 構造体強度補正值(S) (4.5.5)に規定する工法を用いる場合は、当該工法による (4.5.3)</p> <p>鉄筋 ○ 帯筋 ※図面による (4.5.3) ○ 鉄筋かごの補強 ※図面による ・ 鉄筋の最小かぶり厚さ ※図面による</p> <p>工法の適用 (4.5.1) ・ アースドリル工法 (・安定液使用 ・無水掘削) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 (孔内の水張り ・ 行わない) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.5) ○ 拡底杭工法 (※安定液使用)</p> <p>孔壁を超音波測定器による確認 ○ 行う ・ 行わない (4.5.4) 支持地盤の位置及び種類 ※図面による (4.5.4) 水平方向の位置ずれの精度 100mm以内</p> <p>⑧ 砂利及び砂地業</p> <p>⑨ 捨コンクリート地業</p> <p>10 床下防湿層</p> <p>11 その他</p>	<p>⑧ 圧接完了後の試験 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験 (5.4.9)</p> <p>9 機械式継手 ・ ねじ節継手 ・ 端部ねじ節継手 (5.5.2) 工法() ・ 品質の確認方法() 不良となった継手の修正方法 ※ (1.2.2) [施工計画書]による品質計画で定める</p> <p>10 溶接継手 工法() ・ 品質の確認方法() (5.5.3) 不良となった継手の修正方法 ※ (1.2.2) [施工計画書]による品質計画で定める</p> <p>11 その他</p> <p>⑥ ① コンクリートの強度 (6.2.2) (表6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>スラブ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 構造特記による</td> <td>・ 15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 18</td> <td></td> </tr> </table> <p>※構造体強度補正は特則仕様書による ・ 軽量コンクリート ※1種 ・ 2種 (6.10.1) (表6.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>スラブ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 構造特記による</td> <td>・ 15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 18</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 常時土又は水に直接接する部分に使用 (6.10.1) ・ 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>スラブ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 構造特記による</td> <td>・ 15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 18</td> <td></td> </tr> </table> <p>② レディミクストコンクリートの種類 ※I類 ・ II類 (6.2.1) ・ 建築基準法第37条第二号に「規定する国土交通大臣の認定を受けたコンクリート」</p> <p>③ 打放し仕上げの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ A種</td> <td>外壁リフ化粧部分</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>地上軸部</td> </tr> <tr> <td>○ C種</td> <td>地上軸部</td> </tr> </table> <p>④ セメントの材料 ※普通ポルトランドセメント ・ 混合セメントのA種 (6.3.1) ・ 高炉セメントB種 高炉セメントB種の適用箇所() フライアッシュセメントB種の適用箇所() フェロニッケルスラグ細骨材等 ・ 使用する ・ 使用しない 砕石等のアルカリシリカ反応による区分 ※A 混和剤 ※AE剤 ・ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤 混和材 ・ フライアッシュ (・ I種 ・ II種 ・ IV種) ・ 高炉スラグ微粉末 (6.3.1) (6.3.2)</p> <p>⑤ 混和材料</p> <p>⑥ 打継ぎ</p> <p>⑦ 型枠</p> <p>8 その他</p>	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スラブ	施工箇所	○ 構造特記による	・ 15		・ 18		設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スラブ	施工箇所	○ 構造特記による	・ 15		・ 18		設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スラブ	施工箇所	○ 構造特記による	・ 15		・ 18		種類	施工箇所	○ A種	外壁リフ化粧部分	○ B種	地上軸部	○ C種	地上軸部	<p>⑧ 溶接部の試験</p> <p>9 技量付加試験</p> <p>⑩ デッキプレート の溶接</p> <p>⑪ 塗料の種類</p> <p>12 耐火被覆</p> <p>⑬ アンカーボルト等</p> <p>⑭ デッキプレート</p> <p>⑮ ターンバックル等</p> <p>⑯ 柱底均しモルタル</p> <p>⑰ 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合</p> <p>18 その他</p>	<p>高力ボルトの径すべり係数試験 ※図面による (7.2.2) ・ 実施する(試験方法 (試験片の摩擦面の状態)) (7.2.2) ・ 実施しない (7.4.2)</p> <p>普通ボルトの径 ※図面による (7.2.3) AOQL (平均出検品質限界) ※4.0% ・ 2.5% (7.6.11) 検査水準 ※第6水準 (7.6.11) (表7.6.2・4)</p> <table border="1"> <tr> <th>試験の種類</th> <th></th> </tr> <tr> <td>※超音波探傷試験</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 実施する ・ 実施しない (7.6.3) デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法 () (7.7.8) ○ 構造図 S-B07、B08による</p> <p>特記により塗装を行う場合等の耐火被覆材の接着面 (7.8.3) に行う錆止め塗料 () (7.9.2~7.9.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> </tr> <tr> <td>・ ラス張りモルタル塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材吹付け</td> <td>・ 乾式吹付ロックウール ・ 半乾式吹付ロックウール</td> </tr> <tr> <td>・ 耐火板張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材巻付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 構造用アンカーボルトの種類、形状及び寸法 (7.2.4) (7.10.3) (表7.10.1) ※図面による ○ 建方用アンカーボルトの種類、保持及び埋込み工法 (・ A種 ※B種 ・ C種) 材質 () 形状 () 寸法 (mm) ○ 構造図 S-B07、B08による</p> <p>ターンバックルの種類及びねじの呼び径 (7.2.6) ※図面による デッキプレート版の材質、形状及び寸法 (7.2.7) ※図面による 天井クレーン走行用等に使用するレールの形状及び寸法等 (2.8) ※図面による</p> <p>(7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)</p> <p>工法及びモルタル厚さ ※A種 (※50mm) ・ B種 (※30mm)</p> <p>無収縮モルタル ※使用する (7.2.9 (b) による) ・ 使用しない</p> <p>※摩擦面の処理 (7.12.4) ※プラスト処理 (すべり係数値0.4以上、表面粗度50μmRz以上) ・ りん酸塩処理 (確認方法:)</p>	試験の種類		※超音波探傷試験		種類	性能	・ ラス張りモルタル塗		・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付ロックウール ・ 半乾式吹付ロックウール	・ 耐火板張り		・ 耐火材巻付け																							
設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スラブ	施工箇所																																																																						
○ 構造特記による	・ 15																																																																							
	・ 18																																																																							
設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スラブ	施工箇所																																																																						
○ 構造特記による	・ 15																																																																							
	・ 18																																																																							
設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スラブ	施工箇所																																																																						
○ 構造特記による	・ 15																																																																							
	・ 18																																																																							
種類	施工箇所																																																																							
○ A種	外壁リフ化粧部分																																																																							
○ B種	地上軸部																																																																							
○ C種	地上軸部																																																																							
試験の種類																																																																								
※超音波探傷試験																																																																								
種類	性能																																																																							
・ ラス張りモルタル塗																																																																								
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付ロックウール ・ 半乾式吹付ロックウール																																																																							
・ 耐火板張り																																																																								
・ 耐火材巻付け																																																																								
<p>土工事</p> <p>① 埋め戻し及び盛土 種別 (3.2.3) (表3.2.1) ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>② 建設発生土の処理 ※指定処分 (鈴塚埠頭 (3.2.5) ・ 確認処分 ・ 再利用() ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し</p> <p>③ 山留め ※存置しない ・ 存置する (3.3.3)</p> <p>4 その他</p>	<p>⑧ 砂利及び砂地業</p> <p>⑨ 捨コンクリート地業</p> <p>10 床下防湿層</p> <p>11 その他</p>	<p>⑤ ① 鉄筋の種類 異形鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>○ SD295A</td> <td>※D16以下</td> </tr> <tr> <td>○ SD295B</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ SD345</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>○ SD390</td> <td>※D29以上</td> </tr> </table> <p>② 溶接金網 形状、寸法及び径 ※図面による (5.2.2)</p> <p>③ 鉄筋の継手 D19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 (5.3.4) (表5.3.2) 柱及び梁の主筋重ね継手長さ (5.3.4) (表5.3.2) ※耐力壁の場合40dと表5.3.2の重ね継手長さのうち大きい値 鉄筋の定着長さ (5.3.4) (表5.3.4) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋 ※図面による ・ L1、L1h ・ L2、L2h その他の鉄筋 ※図面による ・ L1、L1h ・ L2、L2h 先組み工法等 (5.3.4) ・ 柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける</p> <p>④ 鉄筋の最小かぶり厚さ 塩害を受けるおそれのある部分 mm (5.3.5) (表5.3.6) 耐久性上不利な箇所 (5.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表5.3.6の値に加える寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面</td> <td>※10</td> </tr> </table> <p>⑤ 帯筋組立の形及び割付け ※図面による (別2.2)</p> <p>⑥ 壁開口部の補強 一般壁 (別4.4) (別表4.3) (別表4.4) ・ A形 ※B形 ・ 図面による 耐震壁 ※図面による</p> <p>⑦ 梁貫通孔の補強形式 ※出形 ・ M形 ・ MH形 (別7.1) (別表7.1~7.3) ○ 大臣認定による既製品</p>	種類の記号	呼び径	○ SD295A	※D16以下	○ SD295B	・	○ SD345	※D19以上	○ SD390	※D29以上	施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)	柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10	<p>⑦ ① 鉄骨製作工場 ・ 監督員の承諾する製作工場 (7.1.3) ※(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構が「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「S・H・M・S・J」グレードとして評価し、その評価を基に国土交通大臣が認定した工場 (7.1.3) ○ 適用する ・ 適用しない (7.3.10) ・ 実施する ・ 実施しない</p> <p>② 施工管理技術者 3 仮組</p> <p>④ 工作図</p> <p>⑤ 鋼材 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端処理等 ・ 図面による (7.2.1) 材質、形状及び寸法 ※図面による 板厚方向に引張力を受ける鋼材の材料試験(JIS G0901) ・ 行う ・ 行わない (7.2.10) 開先の形状 ・ 図面による (7.6.4) エンドタブの切除 ○ あり ・ なし (7.6.7) 適用箇所 (※図面による) ※形状は図面による (7.6.7)</p> <p>⑥ エンドタブ</p> <p>⑦ 高力ボルト 高力ボルト ※トルシア形高力ボルト (2種(S10T)) (7.2.2) (7.12.4) ・ JIS形高力ボルト (2種(F10T)) ○ 溶接亜鉛めっき高力ボルト (1種(F8T相当))</p>	<p>① 補強コンクリートブロック造 種類及び厚さ ※空洞ブロック16 (8.2.2) コンクリートの調査 (8.2.4) ・ 「標仕」表8.2.2による ・ コンクリート設計基準強度(Fc) ※21N/mm²以上 各部の配筋 ※図面による (8.2.5)</p> <p>② コンクリートブロック壁壁及び塀 (8.3.2) (表8.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>断面形状及び圧縮強さによる区分</th> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁</td> <td>※空洞ブロック16</td> </tr> <tr> <td>・ 地下二重壁</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ 外壁</td> <td>※空洞ブロック16</td> </tr> <tr> <td>・ 塀</td> <td>・ 化粧無し ※空洞ブロック16 ・ 化粧有り</td> </tr> <tr> <td>・ 衛生配管用裏積みブロック</td> <td>※空洞ブロック8</td> </tr> </table> <p>各部の配筋 ※図面による (8.3.3)</p> <p>③ ALCパネル (8.4.2~7) (表8.4.2~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>単位荷重 (N/m²)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>取付構法 種別</th> </tr> <tr> <td>・ 外壁パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 床パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ D種</td> </tr> <tr> <td>・ 床パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ E種</td> </tr> <tr> <td>・ 床パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ F種</td> </tr> </table> <p>・ 外壁パネル構法の風圧力に対応した工法() (8.4.3) ・ 外壁パネル構法の目地幅 mm (8.4.3) ・ 伸縮目地に耐火目地材を充填する</p>	適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分	・ 間仕切壁	※空洞ブロック16	・ 地下二重壁	・	○ 外壁	※空洞ブロック16	・ 塀	・ 化粧無し ※空洞ブロック16 ・ 化粧有り	・ 衛生配管用裏積みブロック	※空洞ブロック8	種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	取付構法 種別	・ 外壁パネル構法	・	・	・	・	・ A種	・ 間仕切壁パネル構法	・	・	・	・	・ B種	・ 屋根パネル構法	・	・	・	・	・ C種	・ 床パネル構法	・	・	・	・	・ D種	・ 床パネル構法	・	・	・	・	・ E種	・ 床パネル構法	・	・	・	・	・ F種
種類の記号	呼び径																																																																							
○ SD295A	※D16以下																																																																							
○ SD295B	・																																																																							
○ SD345	※D19以上																																																																							
○ SD390	※D29以上																																																																							
施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)																																																																							
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10																																																																							
適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分																																																																							
・ 間仕切壁	※空洞ブロック16																																																																							
・ 地下二重壁	・																																																																							
○ 外壁	※空洞ブロック16																																																																							
・ 塀	・ 化粧無し ※空洞ブロック16 ・ 化粧有り																																																																							
・ 衛生配管用裏積みブロック	※空洞ブロック8																																																																							
種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	取付構法 種別																																																																			
・ 外壁パネル構法	・	・	・	・	・ A種																																																																			
・ 間仕切壁パネル構法	・	・	・	・	・ B種																																																																			
・ 屋根パネル構法	・	・	・	・	・ C種																																																																			
・ 床パネル構法	・	・	・	・	・ D種																																																																			
・ 床パネル構法	・	・	・	・	・ E種																																																																			
・ 床パネル構法	・	・	・	・	・ F種																																																																			
<p>横浜市建築局</p> <p>年月日 平成28年8月 縮尺 NO.SCALE</p> <p>設計者 株式会社 国設計</p> <p>一級建築士登録 166404 号 吉村久夫</p>		<p>工事名 倉沢区総合庁舎改築工事(第3工区)建築工事</p> <p>図面名称 建築工事特記仕様書(その2)</p> <p>図面番号 A-003</p>																																																																						

<p>④ 押出成形セメント板 (EGP)</p> <p>5 その他</p>	<p>(8.5.2~8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>取付工法種別</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>○外壁パネル工法</td> <td>※フラットパネル・デザインパネル (図示) ○タイルベースパネル</td> <td>・50 ○60</td> <td>○A種 ・B種</td> <td>※有り () ・無し</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル工法</td> <td>※フラットパネル・デザインパネル (図示) ・タイルベースパネル</td> <td>・60</td> <td>・B種 ・C種</td> <td>※有り () ・無し</td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p> <p>・外壁パネル工法の風圧力に対応した工法 () (8.5.3)</p> <p>パネルに欠き込み等を行う場合の限度 (8.5.5)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">開口の大きさ</th> <th>切断後のパネルの残り部分の幅</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">パネルに開口を設ける場合</td> <td>短辺</td> <td>※パネル幅の1/2以下かつ300mm以下</td> <td>※150mm以上</td> </tr> <tr> <td>長辺</td> <td>※500mm以下</td> <td>※300mm以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パネルを切り欠く場合</td> <td>短辺</td> <td>※(パネル幅-300mm)以下</td> <td>※300mm以上</td> </tr> <tr> <td>長辺</td> <td>※500mm以下</td> <td>※300mm以上</td> </tr> </table>	施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	取付工法種別	耐火性能	○外壁パネル工法	※フラットパネル・デザインパネル (図示) ○タイルベースパネル	・50 ○60	○A種 ・B種	※有り () ・無し	・間仕切壁パネル工法	※フラットパネル・デザインパネル (図示) ・タイルベースパネル	・60	・B種 ・C種	※有り () ・無し	開口の大きさ			切断後のパネルの残り部分の幅	パネルに開口を設ける場合	短辺	※パネル幅の1/2以下かつ300mm以下	※150mm以上	長辺	※500mm以下	※300mm以上	パネルを切り欠く場合	短辺	※(パネル幅-300mm)以下	※300mm以上	長辺	※500mm以下	※300mm以上	<p>③ 合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>④ 塗膜防水</p> <p>5 ケイ酸質系塗布防水</p> <p>⑥ シーリング</p> <p>7 その他</p>	<p>(9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1) (表9.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上げ塗料塗り</th> <th>使用分類</th> </tr> <tr> <td>・S-F1</td> <td>※1.2</td> <td>・</td> <td>○シルバー</td> <td>※非歩行</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td>※2.0</td> <td>・</td> <td>○カラー</td> <td>・軽歩行</td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td>※1.5</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td>※1.5</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・S-M3</td> <td>※1.2</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・SI-F1</td> <td>※1.2</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・SI-F2</td> <td>※2.0</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・SI-M1</td> <td>※1.5</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○SI-M2</td> <td>※1.5</td> <td>・屋上</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>絶縁用シートの材質 ※発砲ポリエチレンシート (9.4.2) 断熱工法の断熱材 ・A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○X-1</td> <td>立ち上がり</td> <td>仕上げ塗料塗り</td> </tr> <tr> <td>○X-2</td> <td>設備基礎</td> <td>・シルバー ・カラー</td> </tr> <tr> <td>・Y-1</td> <td>地下外壁防水</td> <td>Y-2工法の保護層</td> </tr> <tr> <td>・Y-2</td> <td>・</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>脱気装置 ・設ける 材質 () 設置数量 () m²当たり1箇所 (9.6.1~9.6.4) (表9.6.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>○C-U1</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・C-UP</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>「標仕」9.6.4以外に定める下地処理 (9.6.4) ・行わない ・行う ()</p> <p>下表以外は、「標仕」表9.7.1による (9.7.2) (表9.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>○図示による</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>目地寸法 ※「標仕」9.7.3(a)による (9.7.3) 接着性試験 ※簡易接着性試験 (9.7.5)</p>	種別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類	・S-F1	※1.2	・	○シルバー	※非歩行	・S-F2	※2.0	・	○カラー	・軽歩行	・S-M1	※1.5	・	・	・	・S-M2	※1.5	・	・	・	・S-M3	※1.2	・	・	・	・SI-F1	※1.2	・	・	・	・SI-F2	※2.0	・	・	・	・SI-M1	※1.5	・	・	・	○SI-M2	※1.5	・屋上	・	・	種別	施工箇所	備考	○X-1	立ち上がり	仕上げ塗料塗り	○X-2	設備基礎	・シルバー ・カラー	・Y-1	地下外壁防水	Y-2工法の保護層	・Y-2	・	・適用する ・適用しない	種別	適用部位	○C-U1	・	・C-UP	・	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	○図示による	・	<p>① 一般事項</p> <p>② 材料</p> <p>③ 木工事</p> <p>④ 一般事項</p> <p>⑤ セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り</p> <p>⑥ 接着剤による陶磁器質タイル張り</p> <p>⑦ 陶磁器質タイル型枠先付け</p> <p>5 その他</p>	<p>表面仕上げ ※B種・A種・C種・D種 (12.1.4) (表12.1.1) 適用箇所 図示による 含水率 ※A種・B種 (12.2.1) (表12.2.1)</p> <p>「製材の日本農林規格」による製材 (12.2.1 (b))</p> <p>○下地用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状 (板類・耳付・押角)</th> <th>含水率 (%)</th> </tr> <tr> <td>スギ</td> <td>図示による</td> <td>※2級</td> <td>図示による</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状 (板類・角類)</th> <th>含水率 (%)</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・上小節 ・小節以上</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状 (耳付材の有無)</th> <th>含水率 (%)</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※1等</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」以外の製材 ・下地、造作及び仕上げ用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率 (%)</th> <th>代用樹種</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※認めない</td> </tr> </table> <p>・造作材 (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>部材名称</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>生地のまま</td> <td>枠、額縁、敷居、かもし、</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>または透</td> <td>かまの類</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>明塗料塗り</td> <td>押入、戸棚等の内面造作の類</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>不透明塗料塗り</td> <td>・</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> </table> <p>造作用集成材 (12.2.1 (c)) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <p>○造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の等級</th> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>30×60</td> <td>※1等</td> </tr> </table> <p>・化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種(化粧薄板・芯材)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ</th> <th>見付け材面の等級</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※1等</td> </tr> </table> <p>・化粧ばり構造用集成柱</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種(化粧薄板・芯材)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <p>・造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> <p>・化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種(化粧薄板・芯材)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> <p>・化粧ばり構造用集成柱</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種(化粧薄板・芯材)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※15%以下</td> </tr> </table>	樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (板類・耳付・押角)	含水率 (%)	スギ	図示による	※2級	図示による	・	樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (板類・角類)	含水率 (%)	・	・	・	・上小節 ・小節以上	・	樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (耳付材の有無)	含水率 (%)	・	・	※1等	・	・	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率 (%)	代用樹種	・	・	・A種 ・B種	・	・	・	※認めない	使用箇所	部材名称	種別	生地のまま	枠、額縁、敷居、かもし、	※A種	または透	かまの類	・B種	明塗料塗り	押入、戸棚等の内面造作の類	※A種 ・B種	不透明塗料塗り	・	※A種 ・B種	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の等級	ヒノキ	30×60	※1等	樹種(化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ	見付け材面の等級	・	・	・	※1等	樹種(化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ	備考	・	・	・	・	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	・	・	・	※15%以下	樹種(化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	・	・	・	・	※15%以下	樹種(化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	見付け材面の品質	化粧薄板の厚さ (mm)	含水率	・	・	・	・	※15%以下
施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	取付工法種別	耐火性能																																																																																																																																																																																																																										
○外壁パネル工法	※フラットパネル・デザインパネル (図示) ○タイルベースパネル	・50 ○60	○A種 ・B種	※有り () ・無し																																																																																																																																																																																																																										
・間仕切壁パネル工法	※フラットパネル・デザインパネル (図示) ・タイルベースパネル	・60	・B種 ・C種	※有り () ・無し																																																																																																																																																																																																																										
開口の大きさ			切断後のパネルの残り部分の幅																																																																																																																																																																																																																											
パネルに開口を設ける場合	短辺	※パネル幅の1/2以下かつ300mm以下	※150mm以上																																																																																																																																																																																																																											
	長辺	※500mm以下	※300mm以上																																																																																																																																																																																																																											
パネルを切り欠く場合	短辺	※(パネル幅-300mm)以下	※300mm以上																																																																																																																																																																																																																											
	長辺	※500mm以下	※300mm以上																																																																																																																																																																																																																											
種別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類																																																																																																																																																																																																																										
・S-F1	※1.2	・	○シルバー	※非歩行																																																																																																																																																																																																																										
・S-F2	※2.0	・	○カラー	・軽歩行																																																																																																																																																																																																																										
・S-M1	※1.5	・	・	・																																																																																																																																																																																																																										
・S-M2	※1.5	・	・	・																																																																																																																																																																																																																										
・S-M3	※1.2	・	・	・																																																																																																																																																																																																																										
・SI-F1	※1.2	・	・	・																																																																																																																																																																																																																										
・SI-F2	※2.0	・	・	・																																																																																																																																																																																																																										
・SI-M1	※1.5	・	・	・																																																																																																																																																																																																																										
○SI-M2	※1.5	・屋上	・	・																																																																																																																																																																																																																										
種別	施工箇所	備考																																																																																																																																																																																																																												
○X-1	立ち上がり	仕上げ塗料塗り																																																																																																																																																																																																																												
○X-2	設備基礎	・シルバー ・カラー																																																																																																																																																																																																																												
・Y-1	地下外壁防水	Y-2工法の保護層																																																																																																																																																																																																																												
・Y-2	・	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																												
種別	適用部位																																																																																																																																																																																																																													
○C-U1	・																																																																																																																																																																																																																													
・C-UP	・																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																																																																																													
○図示による	・																																																																																																																																																																																																																													
樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (板類・耳付・押角)	含水率 (%)																																																																																																																																																																																																																										
スギ	図示による	※2級	図示による	・																																																																																																																																																																																																																										
樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (板類・角類)	含水率 (%)																																																																																																																																																																																																																										
・	・	・	・上小節 ・小節以上	・																																																																																																																																																																																																																										
樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (耳付材の有無)	含水率 (%)																																																																																																																																																																																																																										
・	・	※1等	・	・																																																																																																																																																																																																																										
樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率 (%)	代用樹種																																																																																																																																																																																																																								
・	・	・A種 ・B種	・	・	・	※認めない																																																																																																																																																																																																																								
使用箇所	部材名称	種別																																																																																																																																																																																																																												
生地のまま	枠、額縁、敷居、かもし、	※A種																																																																																																																																																																																																																												
または透	かまの類	・B種																																																																																																																																																																																																																												
明塗料塗り	押入、戸棚等の内面造作の類	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																												
不透明塗料塗り	・	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																												
樹種	寸法 (mm)	見付け材面の等級																																																																																																																																																																																																																												
ヒノキ	30×60	※1等																																																																																																																																																																																																																												
樹種(化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ	見付け材面の等級																																																																																																																																																																																																																											
・	・	・	※1等																																																																																																																																																																																																																											
樹種(化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																											
・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																											
樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																											
・	・	・	※15%以下																																																																																																																																																																																																																											
樹種(化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																										
・	・	・	・	※15%以下																																																																																																																																																																																																																										
樹種(化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	見付け材面の品質	化粧薄板の厚さ (mm)	含水率																																																																																																																																																																																																																										
・	・	・	・	※15%以下																																																																																																																																																																																																																										
<p>⑨ ① アスファルト防水</p> <p>防水工事</p> <p>2 改質アスファルトシート防水</p>	<p>(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~表9.2.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○AI-1</td> <td>バルコニー、テラス</td> </tr> </table> <p>押え金物 (9.2.2) 材質 ※アルミニウム製 形状寸法 ※L-30×15×2.0 (mm)</p> <p>屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 (9.2.2) 材質 ※A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b (スキムあり) 厚さ ○30mm</p> <p>屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 (9.2.2) 材質 ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は透湿係数を除く規格に適合するもの 厚さ mm</p> <p>絶縁用シート (9.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td>屋根保護防水密着工法</td> <td>※ポリエチレンフィルム</td> </tr> <tr> <td>屋根保護防水絶縁工法</td> <td>厚さ0.15mm以上</td> </tr> <tr> <td>屋根保護防水密着断熱工法</td> <td>※ポリプロピレン、ポリエチレン等を平織りしたフラットヤーンクロス</td> </tr> <tr> <td>屋根保護防水絶縁断熱工法</td> <td>(70g/m²程度)</td> </tr> </table> <p>立上り部の保護 (9.2.2) ・れんがの種類 ※JIS R 1250による。 ・見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。</p> <p>○乾式保護材の材料 (9.2.5)</p> <p>(9.3.2~9.3.4) (表9.3.1~表9.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・AS-T1</td> <td>※2.5+3.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> <td>※4.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> <td>※1.5+2.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-T3</td> <td>※1.5+3.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td>※4.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-J2</td> <td>※1.5+2.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ASI-T1</td> <td>※1.5+3.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ASI-J1</td> <td>※1.5+2.0</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ASI-T1、ASI-J1工法の防湿層 ・設置する () ・設置しない 脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3) ※改質アスファルト製造所の指定とする</p>	種別	施工箇所	○AI-1	バルコニー、テラス	工法	材料	屋根保護防水密着工法	※ポリエチレンフィルム	屋根保護防水絶縁工法	厚さ0.15mm以上	屋根保護防水密着断熱工法	※ポリプロピレン、ポリエチレン等を平織りしたフラットヤーンクロス	屋根保護防水絶縁断熱工法	(70g/m ² 程度)	種別	厚さ (mm)	施工箇所	・AS-T1	※2.5+3.0	・	・AS-T2	※4.0	・	・AS-J1	※1.5+2.0	・	・AS-T3	※1.5+3.0	・	・AS-T4	※4.0	・	・AS-J2	※1.5+2.0	・	・ASI-T1	※1.5+3.0	・	・ASI-J1	※1.5+2.0	・	<p>① 天然石張り</p> <p>② テラゾ張り</p> <p>③ 壁の石張り工法</p>	<p>(10.1.3) (10.1.3) (10.1.5) (10.2.1) (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)</p> <p>石材の割付 ※「標仕」10.1.3 (10.1.3) 石材の加工 ・粗面仕上げ (10.1.3) ワックス(床の場合) ・使用する (10.1.5) 石の品質 (10.2.1) 床用石材 ※2等品 壁及びその他の石材 ※1等品 石の種類・形状・寸法・表面仕上げ (表10.2.1) (表10.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※正方形に近い</td> <td>※0.8m²以下</td> <td>・粗磨き ・水磨き ・本磨き</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>矩形</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>種石の種類 ※大理石 (10.2.1) 大きさ ※1.5~12mm (10.2.1) テラゾブロック (10.2.1) (表10.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>形状・寸法</th> <th>仕上げ面</th> <th>表面仕上げ</th> <th>粗磨き</th> <th>水磨き</th> <th>本磨き</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・粗磨き</td> <td>・水磨き</td> <td>・本磨き</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>テラゾタイル (10.2.1) (表10.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>寸法</th> <th>表面仕上げ</th> <th>粗磨き</th> <th>水磨き</th> <th>本磨き</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・粗磨き</td> <td>・水磨き</td> <td>・本磨き</td> </tr> </table> <p>3 壁の石張り工法</p> <p>外壁石張り (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3) (10.5.2) (10.5.3) ・外壁湿式工法不地ごしらえ (※流し筋工法) ドレンパイプの材質 ・乾式工法目地幅 ※6mm以上 石材の厚さ ・有効厚さ25mm以上 石裏面処理 ・行う ・行わない 裏打ち処理 ・行う ・行わない 金物の固定に使用する充填材料 ※石材施工業者の指定する製品</p> <p>内壁石張り (10.2.2) (10.4.2) (10.4.3) (10.5.2) (10.5.3) 内壁空積工法 (※あと施工アンカー・横筋流し工法) 下地ごしらえ ・あと施工アンカー工法) 目地幅 ※6mm以上 石材の厚さ ※20mm以上 伸縮調整目地の位置 ※6m程度ごと 乾式工法用金物 (・スライド方式 石材の厚さ ・有効厚さ30mm以上 だぼ穴の位置 ※「標仕」10.5.2 石裏面処理 ・行う ・行わない 裏打ち処理 ・行う ・行わない 目地幅 ※8mm以上 シーリング材目地寸法 ※「標仕」9.7.3(a) (3)</p>	施工箇所	種類	形状	寸法	表面仕上げ	・	・	※正方形に近い	※0.8m ² 以下	・粗磨き ・水磨き ・本磨き	・	・	矩形	・	・	形状・寸法	仕上げ面	表面仕上げ	粗磨き	水磨き	本磨き	・	・	・粗磨き	・水磨き	・本磨き	・	寸法	表面仕上げ	粗磨き	水磨き	本磨き	・	・	・粗磨き	・水磨き	・本磨き	<p>伸縮調整目地 ※「標仕」表11.1.1 (11.1.3) (表11.1.1)</p> <p>① 一般事項</p> <p>② セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り</p> <p>③ 接着剤による陶磁器質タイル張り</p> <p>④ 陶磁器質タイル型枠先付け</p> <p>5 その他</p>	<p>① 一般事項</p> <p>② 材料</p> <p>③ 木工事</p> <p>④ 一般事項</p> <p>⑤ セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り</p> <p>⑥ 接着剤による陶磁器質タイル張り</p> <p>⑦ 陶磁器質タイル型枠先付け</p> <p>5 その他</p>																																																																																																																																											
種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																													
○AI-1	バルコニー、テラス																																																																																																																																																																																																																													
工法	材料																																																																																																																																																																																																																													
屋根保護防水密着工法	※ポリエチレンフィルム																																																																																																																																																																																																																													
屋根保護防水絶縁工法	厚さ0.15mm以上																																																																																																																																																																																																																													
屋根保護防水密着断熱工法	※ポリプロピレン、ポリエチレン等を平織りしたフラットヤーンクロス																																																																																																																																																																																																																													
屋根保護防水絶縁断熱工法	(70g/m ² 程度)																																																																																																																																																																																																																													
種別	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																												
・AS-T1	※2.5+3.0	・																																																																																																																																																																																																																												
・AS-T2	※4.0	・																																																																																																																																																																																																																												
・AS-J1	※1.5+2.0	・																																																																																																																																																																																																																												
・AS-T3	※1.5+3.0	・																																																																																																																																																																																																																												
・AS-T4	※4.0	・																																																																																																																																																																																																																												
・AS-J2	※1.5+2.0	・																																																																																																																																																																																																																												
・ASI-T1	※1.5+3.0	・																																																																																																																																																																																																																												
・ASI-J1	※1.5+2.0	・																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	種類	形状	寸法	表面仕上げ																																																																																																																																																																																																																										
・	・	※正方形に近い	※0.8m ² 以下	・粗磨き ・水磨き ・本磨き																																																																																																																																																																																																																										
・	・	矩形	・	・																																																																																																																																																																																																																										
形状・寸法	仕上げ面	表面仕上げ	粗磨き	水磨き	本磨き																																																																																																																																																																																																																									
・	・	・粗磨き	・水磨き	・本磨き	・																																																																																																																																																																																																																									
寸法	表面仕上げ	粗磨き	水磨き	本磨き																																																																																																																																																																																																																										
・	・	・粗磨き	・水磨き	・本磨き																																																																																																																																																																																																																										

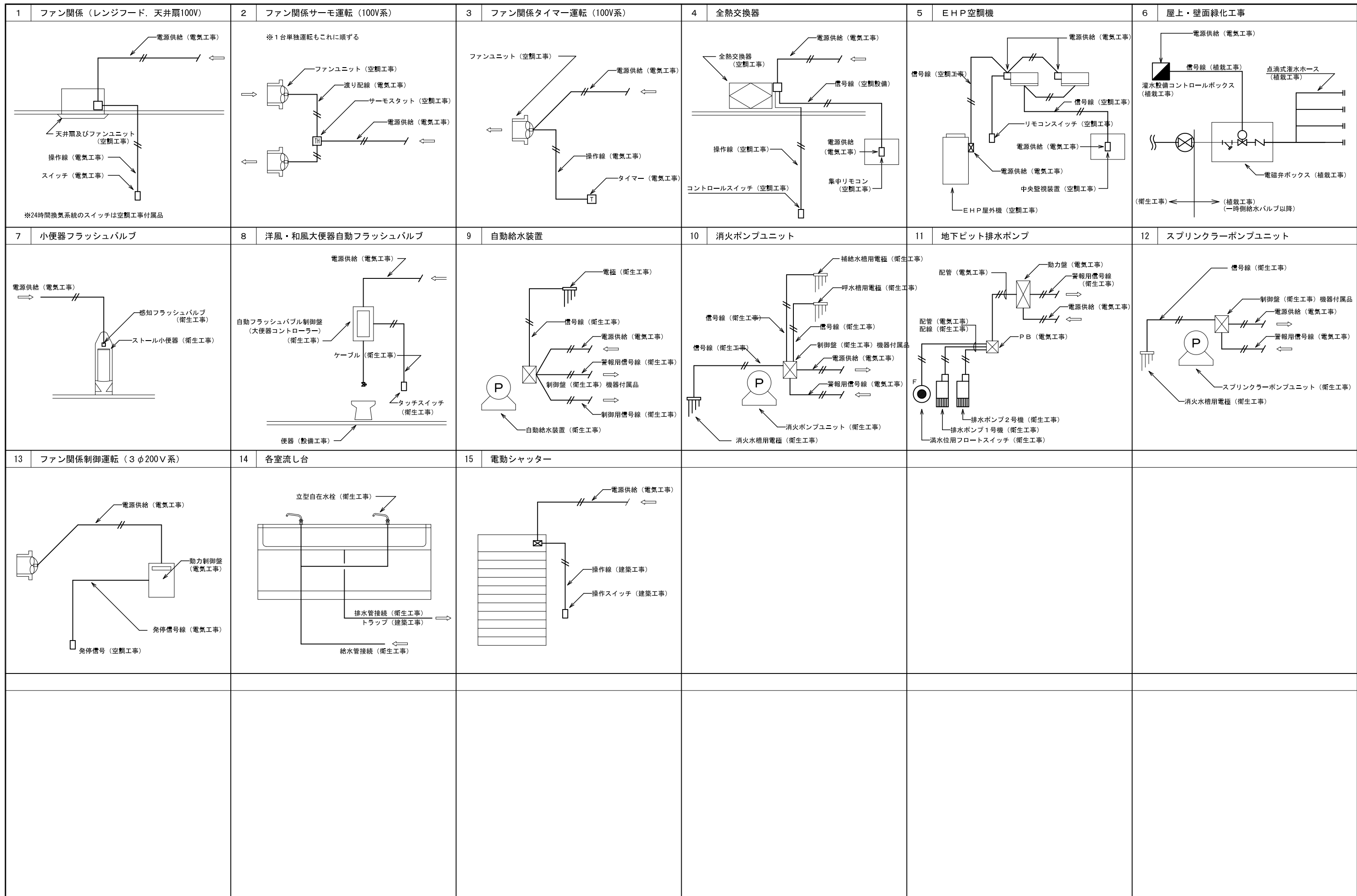
<p>3 防蟻・防蟻・防虫処理</p> <p>4 木材</p> <p>5 その他</p>	<p>造作用単板積層材 (12.2.1(d)) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 厚さ(mm) 表面の品質 防虫処理 備考</p> <p>「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ(mm) 表面の品質 防虫処理 含水率 ※14%以下</p> <p>床張り用合板等 (12.2.1(e)) ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・普通合板 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 材の処理</p> <p>◎構造用合板 厚さ(mm) 等級 強度等級 接着の程度 表板の樹種名 板面の品質 材の処理</p> <p>・パーティクルボード 厚さ(mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分</p> <p>・構造用パネル 厚さ(mm) 等級 備考</p> <p>・接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>下地木材への防蟻・防蟻処理 (12.3.1) ・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 保存処理性能区分 (・K2 ・K3 ・K4) 適用部位 () ・図示による ・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 ※標仕12.3.1(3)(ii)による ・ボード原料接着剤への薬剤混入による防蟻・防蟻処理 ・行う ・行わない ・防虫処理 ・保存処理K1 (12.3.2)</p> <p>◎図面による (12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1) 部位 材質 備考 間仕切軸組 ・杉 ・松 床組 ・杉 ・松 土間スラブの類の土台等 ・ひのき ・保存処理木材 窓、出入口 吊元柱、水掛り 下枠、敷居 ・ひのき その他 上記以外 ・松 ・杉 縁甲板、上がりかまち ・ひのき 壁、天井下地 ・杉 ・松</p>	<p>2 折板葺</p> <p>◎とい</p> <p>4 その他</p> <p>14 ①一般事項 (14.1.3) あと施工アンカー 引抜き耐力の確認試験 ※行う 設計用引張強度 ※1.2.2[施工計画書]の品質計画において定めもの</p> <p>②ステンレスの表面仕上げ (14.2.1) 種類 施工箇所 ※HL程度 下記以外の見え掛り全て ・No.2B程度</p> <p>③アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1) 種別 施工箇所 ◎B-2種(・ブラウン系 ・ブラック ・ステンレスカラー)</p> <p>④鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2) 表面処理 種別 施工箇所 溶融亜鉛めっき ◎A種 図示による ◎B種 図示による ◎C種 図示による 電気亜鉛めっき ・D種 ・E種 ・F種</p> <p>⑤軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) 野縁等の種類 屋内 ※19型 ・25型 屋外 ※25型 ・19型 野縁受、吊りボルト、及びビーンサートの間隔(屋外の場合) (14.4.3) (900mm) 野縁の間隔(屋外の場合) (14.4.3) (900mm) 照明器具、ダクト吹出し口等の開口補強方法 (14.4.4) 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 () ・図面による ◎天井ふところ1.5m以上の場合の補強方法 (14.4.4) ※「標仕」14.4.4(h)(1)及び(2)による ・図面による ・天井ふところ3mを超える場合の補強方法 (14.4.4) ・図面による 天井下地材における耐震性を考慮した補強 (14.4.4) ◎行う(方法等は図面による) 屋外の軒天井、ピロティの天井等の補強 (14.4.4) ・行う(方法等は図面による)</p> <p>⑥軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1) スタッド、ランナーの種類 ・50形 ◎65形 ・90形 ※スタッドの高さによる</p> <p>7 金属成形板張り (14.6.2)(表14.2.1) 形状 製法 材種 寸法(mm) 厚さ(mm) 表面処理</p> <p>取付け用下地 ※「標仕」14章4節 (14.6.3) 伸縮調整継手 ※設けない (14.6.3) ・設ける(施工箇所は図示)</p>	<p>⑧アルミニウム製笠木 (14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1) 種類 板厚(mm) 表面処理 固定間隔 備考 ・250形 1.6以上 ※A-1種 固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの ・300形 1.8以上 ・B-1種 ・350形 2.0以上 ・B-2種 ◎図示による ()</p> <p>⑨手すり及びタラップ (14.2.1)(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.2) 種類 材料の種別 表面処理 手すり ◎ステンレス SUS304 ◎HL程度 ◎鉄 ・鏡面程度 ・アルミ 垂鉛めっき 外部 ※C種 タラップ ※ステンレス SUS304 ※研磨なし ・鉄 垂鉛めっき 内外部 ※C種</p> <p>10 その他</p>	<p>⑩モルタル塗り (15.2.2) 既製目地材 ・適用する(形状) ・適用しない</p> <p>床の目地 (15.2.5) ・設置する ・設置しない (押し目地、割り付け間隔は室内では縦横1.8m、廊下は3.6m程度) ◎図面による</p> <p>外壁タイル下地等の均しモルタル接着力試験 (15.2.5) ・実施する ・実施しない</p> <p>⑪セルフレベリング材塗り (15.4.2)(表15.4.1) 適用する ・適用しない 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・せっこう系 ※10 ◎セメント系 ◎図示による ◎図示による</p> <p>内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 (15.5.2) ※F☆☆☆☆ () 内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材 (15.5.2) ・用いる(施工箇所は図面による) ・用いない (15.5.2)(表15.5.1)</p> <p>種類 呼び名 仕上げの形状等 工法 ・薄付仕上げ塗材 ・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E ・外装薄塗材S ・外装薄塗材W ・厚付け仕上げ塗材 ・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E</p>	<p>4 マステック塗材塗り</p> <p>5 ロックウール吹付け</p> <p>6 その他</p> <p>16 ①防火戸 (16.1.3) 防火戸の指定 ※図面による (16.1.3) 防火戸の自動閉鎖機構及びヒューズ装置、熱感知器又は(16.1.3)煙感知器との連動 ※図面による (16.1.3)</p> <p>②見本の製作等 (16.1.4) 建具見本の製作 ・行う ◎行わない (16.1.4) 特殊な建具の仮組(建具番号:) (16.1.4) ・行う ◎行わない (16.1.4) ・適用する() ・適用しない (16.1.6)</p> <p>③防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>④アルミニウム製建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1) 外部に面する建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1) 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所 ◎A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ※図示 ・B種 S-5 ・ ・ ・ ・C種 S-6 ・A-4 ・W-5 ・100</p> <p>建具の枠の見込み寸法(外部に面する建具を除く) (16.2.4) ()</p>
--	---	---	---	--	--

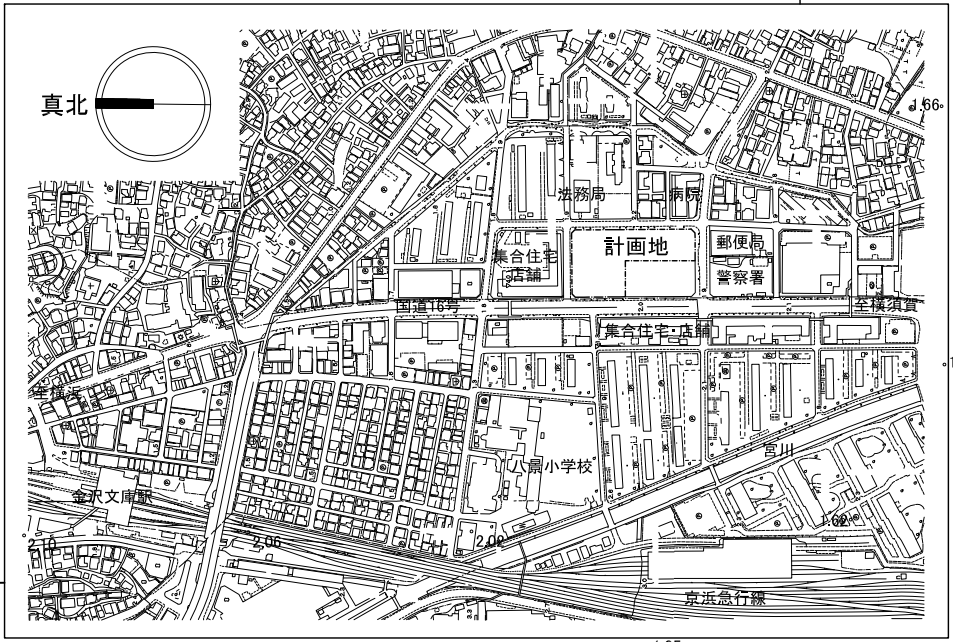
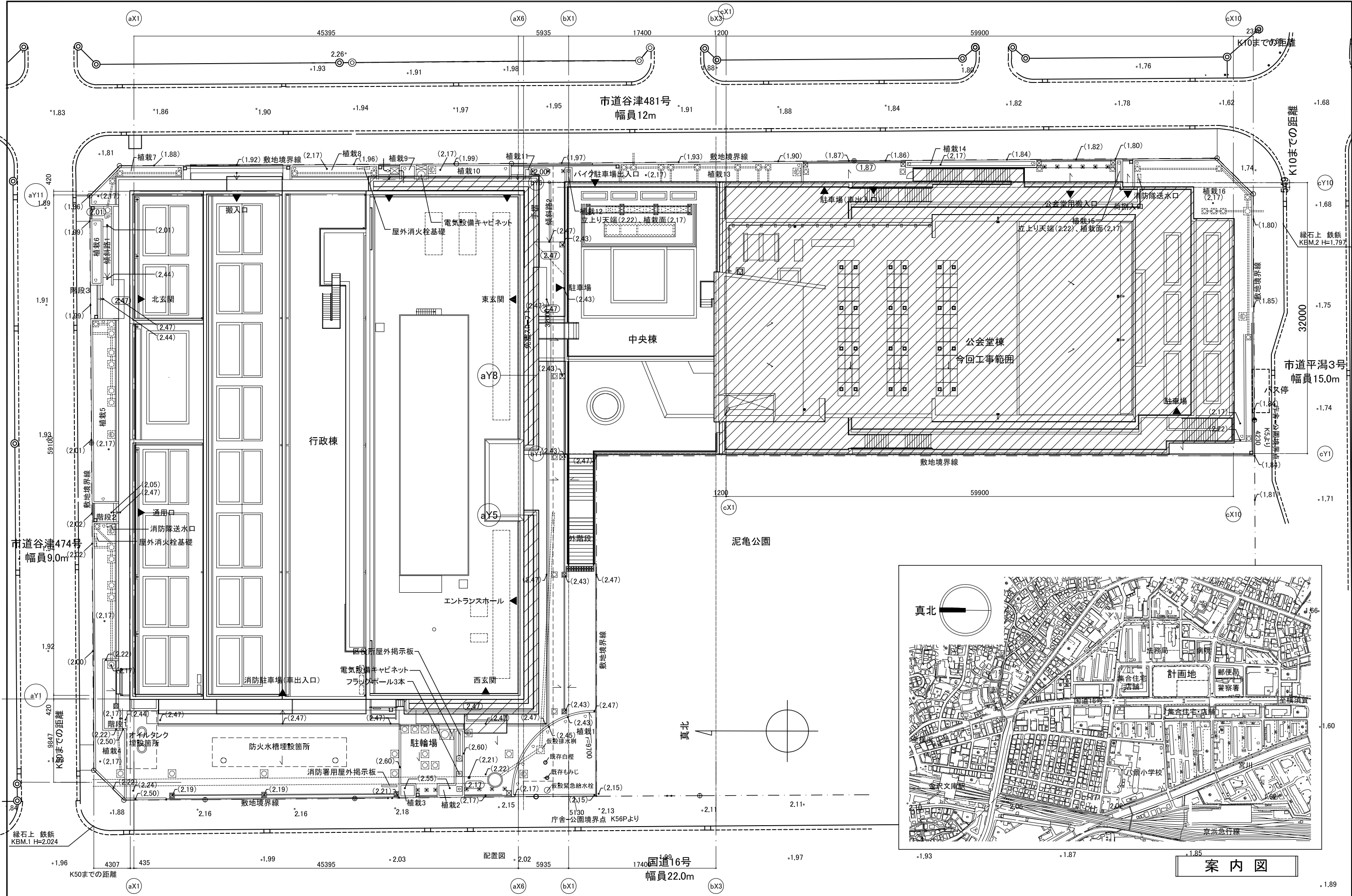
<p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.2.2)</p> <p>⑩ 遮音性 (遮音性の等級 T-2)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.2.2)</p> <p>・適用する (断熱性の等級:)</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追従性の等級 (16.2.2)</p> <p>・適用する (面内変形追従性の等級:)</p> <p>防虫網 (16.2.3)</p> <p>網の種類 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316)</p>	<p>ステンレス鋼板 (16.6.3)</p> <p>・SUS304 ・SUS430J1L ・SUS430J1</p> <p>表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ (16.6.4)</p> <p>曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.6.5)</p> <p>(16.9.2) (16.9.3) (表16.9.1) (表16.9.2) (表16.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>開閉方法</th> <th>センサの種類</th> </tr> <tr> <td>※スライディングドア</td> <td>※光線スイッチ</td> </tr> <tr> <td>・スイングドア</td> <td>・</td> </tr> </table>	開閉方法	センサの種類	※スライディングドア	※光線スイッチ	・スイングドア	・	<p>溝の大きさ (16.14.3) (表16.14.1)</p> <p>※表16.14.1による</p> <p>・熱線反射ガラスの映像調整 () (16.14.4)</p> <p>・ガラスブロック積み (16.14.5)</p> <p>・図面による</p>	<p>水密性 (17.1.3)</p> <p>・グレード1 ・グレード2 ・グレード3</p> <p>気密性 (17.1.3)</p> <p>・グレード1 ・グレード2 ・グレード3</p> <p>耐火性能 (17.1.3)</p> <p>※適用しない ・適用する (時間、施工箇所: 図示)</p> <p>耐温度差性 (17.1.3)</p> <p>・</p> <p>遮音性 (17.1.3)</p> <p>・</p> <p>断熱性 (17.1.3)</p> <p>・</p>																																																																																																																			
開閉方法	センサの種類																																																																																																																											
※スライディングドア	※光線スイッチ																																																																																																																											
・スイングドア	・																																																																																																																											
<p>アルミニウム製建具の結露水処理方法 (16.2.4)</p> <p>()</p> <p>水切り板、ぜん板等の加工及び組立 (16.2.5)</p> <p>()</p> <p>外部に面する建具 (16.3.2) (16.3.4) (表16.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・S-4</td> <td>※A-4</td> <td>※W-4</td> <td>※70</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・S-5</td> <td>・</td> <td>※W-5</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・S-6</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所	・A種	・S-4	※A-4	※W-4	※70	※図示	・B種	・S-5	・	※W-5	・	・	・C種	・S-6	・	・	・	・	<p>9 自動ドア開閉装置</p> <p>10 木製建具 (16.7.2)</p> <p>建具材の種類 ※B種 ・C種</p> <p>フラッシュ戸の表面材の合板の種類及び品質等 (16.7.2) (表16.7.2)</p> <p>品質等</p> <p>○種類 (スギ)</p> <p>・品質 (※「標仕」16.7.2(b)(1))</p> <p>かまち戸の樹種 (16.7.2)</p> <p>かまち () 鏡板 ()</p> <p>ふすまの上張り (16.7.2) (表16.7.3)</p> <p>※新鳥の子またはビニル紙程度 (押入等の裏面は除く)</p> <p>・鳥の子</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放数量 (16.7.2)</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>枠及びびくつずりの材料 (16.7.2)</p> <p>フラッシュ戸の表面材の厚さ ※「標仕」表16.7.6 (16.7.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>見込み寸法</th> </tr> <tr> <td>かまち戸</td> <td>※36mm</td> </tr> <tr> <td>ふすま</td> <td>※19.5mm</td> </tr> <tr> <td>戸ふすま</td> <td>※30mm</td> </tr> <tr> <td>紙張り障子</td> <td>※30mm</td> </tr> </table> <p>ふすまの縁の仕上げ ()</p>	種類	見込み寸法	かまち戸	※36mm	ふすま	※19.5mm	戸ふすま	※30mm	紙張り障子	※30mm	<p>18 ガラス用フィルム</p> <p>19 その他</p> <p>17 カーテンウォール工事</p> <p>1 1 1 1</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は一般社団法人日本建築学会JASS14による。</p> <p>材料の種類 (17.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・「標仕」16.2.3のアルミニウム製</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・建具の材料による</td> </tr> </table> <p>カーテンウォール方式</p> <p>・方立方式</p> <p>シーリング材及びガラス取付け材料</p> <p>下記以外は「標仕」表9.7.1による (9.7.2) (17.2.2) (表9.7.1)</p> <p>被着体の組合せ</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>主成分による区分</th> <th>耐久性による区分</th> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>石、タイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造ガasket (17.2.2)</p> <p>・適用しない ・適用 (施工箇所: 図示)</p> <p>断熱材 (17.2.2)</p> <p>・適用しない ・適用 (種類: 厚さ (mm) : 施工箇所 図示)</p> <p>製品の寸法許容差 ※「標仕」表17.2.1 (17.2.3) (表17.2.1)</p> <p>表面処理 (17.2.3) (表14.2.1~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色彩等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・無着色</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ブラウン系</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ブラック</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ステンカラー</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・着色塗膜</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・塗装材料 ()</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・焼付け方法 () コート () ベーク</td> </tr> </table> <p>ガラス溝の寸法、形状等 (17.2.3)</p> <p>・</p> <p>※カーテンウォール製作所の仕様による</p> <p>躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.2</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.3</p> <p>構造ガasketを用いるガラスの取付け () (17.2.6)</p> <p>耐風圧性能 (17.1.3)</p> <p>性能値 ※建築基準法施行令第87条および建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること</p> <p>・正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること</p> <p>主要部材のたわみ (h=支点間距離)</p> <table border="1"> <tr> <th>支点間距離 (h)</th> <th>たわみ量</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>※4m以下</td> <td>※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下</td> <td>※残留変形及び有害な変形が起らないこと</td> </tr> <tr> <td>・4mを超える</td> <td>・1/200×h</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>耐震性能 (17.1.3)</p> <p>設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0</p> <p>垂直方向 (KV) ・0.5</p> <p>建物の構造 (h=支点間距離)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>層間変位 (h=支点間距離)</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>鉄骨造</td> <td>※±(1/150)×h以上</td> <td>※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>※±(1/200)×h以上</td> <td>※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない</td> </tr> <tr> <td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類	規格等	・アルミニウム製	・「標仕」16.2.3のアルミニウム製	・	・建具の材料による	記号	主成分による区分	耐久性による区分	金属	ガラス			石、タイル		ガラス	ガラス		種類	色彩等	・	・無着色	・	・ブラウン系	・	・ブラック	・	・ステンカラー	・	・着色塗膜	・	・塗装材料 ()	・	・焼付け方法 () コート () ベーク	支点間距離 (h)	たわみ量	状態	※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと	・4mを超える	・1/200×h	・	種類	層間変位 (h=支点間距離)	状態	鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない	鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない	鉄骨鉄筋コンクリート造	・	・	<p>2 PCカーテンウォール</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は(社)日本建築学会JASS14による (17.3.2)</p> <p>コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)</p> <p>※「標仕」17.3.2による</p> <p>・下表による。ただし、下表以外は「標仕」16.10.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>所要スランブ (cm)</th> </tr> <tr> <td>※経量コンクリート1種</td> <td>※30N/mm²</td> <td>※12cm以下</td> </tr> </table> <p>鉄筋 ※SD295A (17.3.2)</p> <p>補強鉄線の寸法 ※径3.2mm以上 (17.3.2)</p> <p>取付け金物の表面処理 (17.2.3) (表14.2.2)</p> <p>鉄鋼の垂れつき及び材質</p> <table border="1"> <tr> <th>金物種類及び部位</th> <th>内部</th> <th>外部</th> </tr> <tr> <td>PC板打込み金物</td> <td>※E種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>PC板打込み取付けボルト</td> <td>※F種</td> <td>※ステンレスボルト</td> </tr> <tr> <td>2次ファスナー</td> <td>※E種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>取付けボルト</td> <td>※F種</td> <td>※F種</td> </tr> <tr> <td>レベル調整ボルト</td> <td>※F種</td> <td>※F種</td> </tr> </table> <p>上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による</p> <p>シーリング材料 (9.7.2) (17.3.2) (表9.7.1)</p> <p>下記以外は「標仕」表9.6.1による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>カーテンウォール板間目地</td> <td>記号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主成分による区分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>耐久性による区分</td> </tr> </table>	コンクリートの種類	設計基準強度 (F _c)	所要スランブ (cm)	※経量コンクリート1種	※30N/mm ²	※12cm以下	金物種類及び部位	内部	外部	PC板打込み金物	※E種	※A種	PC板打込み取付けボルト	※F種	※ステンレスボルト	2次ファスナー	※E種	※A種	取付けボルト	※F種	※F種	レベル調整ボルト	※F種	※F種	施工箇所	シーリング材の種類	カーテンウォール板間目地	記号		主成分による区分		耐久性による区分
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所																																																																																																																							
・A種	・S-4	※A-4	※W-4	※70	※図示																																																																																																																							
・B種	・S-5	・	※W-5	・	・																																																																																																																							
・C種	・S-6	・	・	・	・																																																																																																																							
種類	見込み寸法																																																																																																																											
かまち戸	※36mm																																																																																																																											
ふすま	※19.5mm																																																																																																																											
戸ふすま	※30mm																																																																																																																											
紙張り障子	※30mm																																																																																																																											
種類	規格等																																																																																																																											
・アルミニウム製	・「標仕」16.2.3のアルミニウム製																																																																																																																											
・	・建具の材料による																																																																																																																											
記号	主成分による区分	耐久性による区分																																																																																																																										
金属	ガラス																																																																																																																											
	石、タイル																																																																																																																											
ガラス	ガラス																																																																																																																											
種類	色彩等																																																																																																																											
・	・無着色																																																																																																																											
・	・ブラウン系																																																																																																																											
・	・ブラック																																																																																																																											
・	・ステンカラー																																																																																																																											
・	・着色塗膜																																																																																																																											
・	・塗装材料 ()																																																																																																																											
・	・焼付け方法 () コート () ベーク																																																																																																																											
支点間距離 (h)	たわみ量	状態																																																																																																																										
※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと																																																																																																																										
・4mを超える	・1/200×h	・																																																																																																																										
種類	層間変位 (h=支点間距離)	状態																																																																																																																										
鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない																																																																																																																										
鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない																																																																																																																										
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	・																																																																																																																										
コンクリートの種類	設計基準強度 (F _c)	所要スランブ (cm)																																																																																																																										
※経量コンクリート1種	※30N/mm ²	※12cm以下																																																																																																																										
金物種類及び部位	内部	外部																																																																																																																										
PC板打込み金物	※E種	※A種																																																																																																																										
PC板打込み取付けボルト	※F種	※ステンレスボルト																																																																																																																										
2次ファスナー	※E種	※A種																																																																																																																										
取付けボルト	※F種	※F種																																																																																																																										
レベル調整ボルト	※F種	※F種																																																																																																																										
施工箇所	シーリング材の種類																																																																																																																											
カーテンウォール板間目地	記号																																																																																																																											
	主成分による区分																																																																																																																											
	耐久性による区分																																																																																																																											
<p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.3.2)</p> <p>・適用する (遮音性の等級: T-1 ・T-2)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.3.2)</p> <p>・適用する (断熱性の等級: H-4 ・H-5)</p> <p>複層ガラス以外のガラス (16.3.3)</p> <p>・適用する (種類: ・単層ガラス ・三重ガラス 施工箇所:)</p> <p>建具の枠の見込み寸法 (外部に面する建具を除く) (16.3.4)</p> <p>(mm)</p> <p>表面色 (16.3.4)</p> <p>・標準色 ・特注色</p> <p>水切り板、ぜん板等の加工及び組立て (16.3.5)</p> <p>()</p>	<p>11 建具用金物 (16.10.3)</p> <p>性能 ※「標仕」表16.10.1</p> <p>12 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>13 重量シャッター (16.11.2)</p> <p>種類 一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター</p> <p>○屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</p> <p>一般重量シャッター及び外壁用防火シャッターの (16.11.2)</p> <p>耐風圧強度 (80)</p> <p>開閉性能 ※上部電動式 (手動併用) (16.11.2) (表16.11.1)</p> <p>・上部手動式</p> <p>スラット及びシャッターケース (16.11.3)</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>めっきの付着量</p> <p>・Z12 ・F12</p> <p>シャッターケース (16.11.2)</p> <p>※設ける ・設けない</p> <p>開閉形式 (16.12.2) (表16.12.1)</p> <p>※手動式 ・上部電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 () (16.12.2)</p> <p>スラット</p> <p>材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (16.12.3)</p> <p>・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板</p> <p>めっきの付着量</p> <p>・Z06 ・F06 ・AZ90</p> <p>形状 ※インターロッキング形 (16.12.4)</p> <p>・オーバーラッピング形</p>	<p>17 1 1 1 1</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は一般社団法人日本建築学会JASS14による。</p> <p>材料の種類 (17.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・「標仕」16.2.3のアルミニウム製</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・建具の材料による</td> </tr> </table> <p>カーテンウォール方式</p> <p>・方立方式</p> <p>シーリング材及びガラス取付け材料</p> <p>下記以外は「標仕」表9.7.1による (9.7.2) (17.2.2) (表9.7.1)</p> <p>被着体の組合せ</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>主成分による区分</th> <th>耐久性による区分</th> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>石、タイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造ガasket (17.2.2)</p> <p>・適用しない ・適用 (施工箇所: 図示)</p> <p>断熱材 (17.2.2)</p> <p>・適用しない ・適用 (種類: 厚さ (mm) : 施工箇所 図示)</p> <p>製品の寸法許容差 ※「標仕」表17.2.1 (17.2.3) (表17.2.1)</p> <p>表面処理 (17.2.3) (表14.2.1~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色彩等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・無着色</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ブラウン系</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ブラック</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ステンカラー</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・着色塗膜</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・塗装材料 ()</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・焼付け方法 () コート () ベーク</td> </tr> </table> <p>ガラス溝の寸法、形状等 (17.2.3)</p> <p>・</p> <p>※カーテンウォール製作所の仕様による</p> <p>躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.2</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.3</p> <p>構造ガasketを用いるガラスの取付け () (17.2.6)</p> <p>耐風圧性能 (17.1.3)</p> <p>性能値 ※建築基準法施行令第87条および建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること</p> <p>・正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること</p> <p>主要部材のたわみ (h=支点間距離)</p> <table border="1"> <tr> <th>支点間距離 (h)</th> <th>たわみ量</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>※4m以下</td> <td>※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下</td> <td>※残留変形及び有害な変形が起らないこと</td> </tr> <tr> <td>・4mを超える</td> <td>・1/200×h</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>耐震性能 (17.1.3)</p> <p>設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0</p> <p>垂直方向 (KV) ・0.5</p> <p>建物の構造 (h=支点間距離)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>層間変位 (h=支点間距離)</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>鉄骨造</td> <td>※±(1/150)×h以上</td> <td>※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>※±(1/200)×h以上</td> <td>※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない</td> </tr> <tr> <td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類	規格等	・アルミニウム製	・「標仕」16.2.3のアルミニウム製	・	・建具の材料による	記号	主成分による区分	耐久性による区分	金属	ガラス			石、タイル		ガラス	ガラス		種類	色彩等	・	・無着色	・	・ブラウン系	・	・ブラック	・	・ステンカラー	・	・着色塗膜	・	・塗装材料 ()	・	・焼付け方法 () コート () ベーク	支点間距離 (h)	たわみ量	状態	※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと	・4mを超える	・1/200×h	・	種類	層間変位 (h=支点間距離)	状態	鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない	鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない	鉄骨鉄筋コンクリート造	・	・	<p>2 PCカーテンウォール</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は(社)日本建築学会JASS14による (17.3.2)</p> <p>コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)</p> <p>※「標仕」17.3.2による</p> <p>・下表による。ただし、下表以外は「標仕」16.10.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>所要スランブ (cm)</th> </tr> <tr> <td>※経量コンクリート1種</td> <td>※30N/mm²</td> <td>※12cm以下</td> </tr> </table> <p>鉄筋 ※SD295A (17.3.2)</p> <p>補強鉄線の寸法 ※径3.2mm以上 (17.3.2)</p> <p>取付け金物の表面処理 (17.2.3) (表14.2.2)</p> <p>鉄鋼の垂れつき及び材質</p> <table border="1"> <tr> <th>金物種類及び部位</th> <th>内部</th> <th>外部</th> </tr> <tr> <td>PC板打込み金物</td> <td>※E種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>PC板打込み取付けボルト</td> <td>※F種</td> <td>※ステンレスボルト</td> </tr> <tr> <td>2次ファスナー</td> <td>※E種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>取付けボルト</td> <td>※F種</td> <td>※F種</td> </tr> <tr> <td>レベル調整ボルト</td> <td>※F種</td> <td>※F種</td> </tr> </table> <p>上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による</p> <p>シーリング材料 (9.7.2) (17.3.2) (表9.7.1)</p> <p>下記以外は「標仕」表9.6.1による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>カーテンウォール板間目地</td> <td>記号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主成分による区分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>耐久性による区分</td> </tr> </table>	コンクリートの種類	設計基準強度 (F _c)	所要スランブ (cm)	※経量コンクリート1種	※30N/mm ²	※12cm以下	金物種類及び部位	内部	外部	PC板打込み金物	※E種	※A種	PC板打込み取付けボルト	※F種	※ステンレスボルト	2次ファスナー	※E種	※A種	取付けボルト	※F種	※F種	レベル調整ボルト	※F種	※F種	施工箇所	シーリング材の種類	カーテンウォール板間目地	記号		主成分による区分		耐久性による区分																																		
種類	規格等																																																																																																																											
・アルミニウム製	・「標仕」16.2.3のアルミニウム製																																																																																																																											
・	・建具の材料による																																																																																																																											
記号	主成分による区分	耐久性による区分																																																																																																																										
金属	ガラス																																																																																																																											
	石、タイル																																																																																																																											
ガラス	ガラス																																																																																																																											
種類	色彩等																																																																																																																											
・	・無着色																																																																																																																											
・	・ブラウン系																																																																																																																											
・	・ブラック																																																																																																																											
・	・ステンカラー																																																																																																																											
・	・着色塗膜																																																																																																																											
・	・塗装材料 ()																																																																																																																											
・	・焼付け方法 () コート () ベーク																																																																																																																											
支点間距離 (h)	たわみ量	状態																																																																																																																										
※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと																																																																																																																										
・4mを超える	・1/200×h	・																																																																																																																										
種類	層間変位 (h=支点間距離)	状態																																																																																																																										
鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない																																																																																																																										
鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない																																																																																																																										
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	・																																																																																																																										
コンクリートの種類	設計基準強度 (F _c)	所要スランブ (cm)																																																																																																																										
※経量コンクリート1種	※30N/mm ²	※12cm以下																																																																																																																										
金物種類及び部位	内部	外部																																																																																																																										
PC板打込み金物	※E種	※A種																																																																																																																										
PC板打込み取付けボルト	※F種	※ステンレスボルト																																																																																																																										
2次ファスナー	※E種	※A種																																																																																																																										
取付けボルト	※F種	※F種																																																																																																																										
レベル調整ボルト	※F種	※F種																																																																																																																										
施工箇所	シーリング材の種類																																																																																																																											
カーテンウォール板間目地	記号																																																																																																																											
	主成分による区分																																																																																																																											
	耐久性による区分																																																																																																																											
<p>簡易気密型ドアセット性能値 (16.4.2) (表16.4.1)</p> <p>※適用する (A-3 ・W-1)</p> <p>外部に面する鋼製建具の耐風圧性 (16.4.2) (表16.2.1)</p> <p>※適用する (S-4 ・S-5 ・S-6)</p> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.4.2) (16.2.2)</p> <p>・適用する (遮音性の等級: T-2, T-3)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.4.2) (16.2.2)</p> <p>・適用する (断熱性の等級:)</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追従性の等級 (16.4.2) (16.2.2)</p> <p>・適用する (面内変形追従性の等級:)</p> <p>めっきの付着量 (16.4.3)</p> <p>※Z12又はF12を満足するもの ・Y08を満足するもの</p> <p>鋼板の厚さ (16.4.4) (表16.4.2)</p> <p>○1.6mm</p> <p>※表16.4.2による (1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2400mmを超える場合を除く)</p>	<p>14 軽量シャッター (16.11.2)</p> <p>種類 一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター</p> <p>○屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</p> <p>一般重量シャッター及び外壁用防火シャッターの (16.11.2)</p> <p>耐風圧強度 (80)</p> <p>開閉性能 ※上部電動式 (手動併用) (16.11.2) (表16.11.1)</p> <p>・上部手動式</p> <p>スラット及びシャッターケース (16.11.3)</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>めっきの付着量</p> <p>・Z12 ・F12</p> <p>シャッターケース (16.11.2)</p> <p>※設ける ・設けない</p> <p>開閉形式 (16.12.2) (表16.12.1)</p> <p>※手動式 ・上部電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 () (16.12.2)</p> <p>スラット</p> <p>材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (16.12.3)</p> <p>・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板</p> <p>めっきの付着量</p> <p>・Z06 ・F06 ・AZ90</p> <p>形状 ※インターロッキング形 (16.12.4)</p> <p>・オーバーラッピング形</p>	<p>17 1 1 1 1</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は一般社団法人日本建築学会JASS14による。</p> <p>材料の種類 (17.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・「標仕」16.2.3のアルミニウム製</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・建具の材料による</td> </tr> </table> <p>カーテンウォール方式</p> <p>・方立方式</p> <p>シーリング材及びガラス取付け材料</p> <p>下記以外は「標仕」表9.7.1による (9.7.2) (17.2.2) (表9.7.1)</p> <p>被着体の組合せ</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>主成分による区分</th> <th>耐久性による区分</th> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>石、タイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造ガasket (17.2.2)</p> <p>・適用しない ・適用 (施工箇所: 図示)</p> <p>断熱材 (17.2.2)</p> <p>・適用しない ・適用 (種類: 厚さ (mm) : 施工箇所 図示)</p> <p>製品の寸法許容差 ※「標仕」表17.2.1 (17.2.3) (表17.2.1)</p> <p>表面処理 (17.2.3) (表14.2.1~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色彩等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・無着色</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ブラウン系</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ブラック</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ステンカラー</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・着色塗膜</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・塗装材料 ()</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・焼付け方法 () コート () ベーク</td> </tr> </table> <p>ガラス溝の寸法、形状等 (17.2.3)</p> <p>・</p> <p>※カーテンウォール製作所の仕様による</p> <p>躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.2</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.3</p> <p>構造ガasketを用いるガラスの取付け () (17.2.6)</p> <p>耐風圧性能 (17.1.3)</p> <p>性能値 ※建築基準法施行令第87条および建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること</p> <p>・正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること</p> <p>主要部材のたわみ (h=支点間距離)</p> <table border="1"> <tr> <th>支点間距離 (h)</th> <th>たわみ量</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>※4m以下</td> <td>※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下</td> <td>※残留変形及び有害な変形が起らないこと</td> </tr> <tr> <td>・4mを超える</td> <td>・1/200×h</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>耐震性能 (17.1.3)</p> <p>設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0</p> <p>垂直方向 (KV) ・0.5</p> <p>建物の構造 (h=支点間距離)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>層間変位 (h=支点間距離)</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>鉄骨造</td> <td>※±(1/150)×h以上</td> <td>※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>※±(1/200)×h以上</td> <td>※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない</td> </tr> <tr> <td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類	規格等	・アルミニウム製	・「標仕」16.2.3のアルミニウム製	・	・建具の材料による	記号	主成分による区分	耐久性による区分	金属	ガラス			石、タイル		ガラス	ガラス		種類	色彩等	・	・無着色	・	・ブラウン系	・	・ブラック	・	・ステンカラー	・	・着色塗膜	・	・塗装材料 ()	・	・焼付け方法 () コート () ベーク	支点間距離 (h)	たわみ量	状態	※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと	・4mを超える	・1/200×h	・	種類	層間変位 (h=支点間距離)	状態	鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない	鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない	鉄骨鉄筋コンクリート造	・	・	<p>2 PCカーテンウォール</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は(社)日本建築学会JASS14による (17.3.2)</p> <p>コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)</p> <p>※「標仕」17.3.2による</p> <p>・下表による。ただし、下表以外は「標仕」16.10.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>所要スランブ (cm)</th> </tr> <tr> <td>※経量コンクリート1種</td> <td>※30N/mm²</td> <td>※12cm以下</td> </tr> </table> <p>鉄筋 ※SD295A (17.3.2)</p> <p>補強鉄線の寸法 ※径3.2mm以上 (17.3.2)</p> <p>取付け金物の表面処理 (17.2.3) (表14.2.2)</p> <p>鉄鋼の垂れつき及び材質</p> <table border="1"> <tr> <th>金物種類及び部位</th> <th>内部</th> <th>外部</th> </tr> <tr> <td>PC板打込み金物</td> <td>※E種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>PC板打込み取付けボルト</td> <td>※F種</td> <td>※ステンレスボルト</td> </tr> <tr> <td>2次ファスナー</td> <td>※E種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>取付けボルト</td> <td>※F種</td> <td>※F種</td> </tr> <tr> <td>レベル調整ボルト</td> <td>※F種</td> <td>※F種</td> </tr> </table> <p>上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による</p> <p>シーリング材料 (9.7.2) (17.3.2) (表9.7.1)</p> <p>下記以外は「標仕」表9.6.1による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>カーテンウォール板間目地</td> <td>記号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主成分による区分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>耐久性による区分</td> </tr> </table>	コンクリートの種類	設計基準強度 (F _c)	所要スランブ (cm)	※経量コンクリート1種	※30N/mm ²	※12cm以下	金物種類及び部位	内部	外部	PC板打込み金物	※E種	※A種	PC板打込み取付けボルト	※F種	※ステンレスボルト	2次ファスナー	※E種	※A種	取付けボルト	※F種	※F種	レベル調整ボルト	※F種	※F種	施工箇所	シーリング材の種類	カーテンウォール板間目地	記号		主成分による区分		耐久性による区分																																		
種類	規格等																																																																																																																											
・アルミニウム製	・「標仕」16.2.3のアルミニウム製																																																																																																																											
・	・建具の材料による																																																																																																																											
記号	主成分による区分	耐久性による区分																																																																																																																										
金属	ガラス																																																																																																																											
	石、タイル																																																																																																																											
ガラス	ガラス																																																																																																																											
種類	色彩等																																																																																																																											
・	・無着色																																																																																																																											
・	・ブラウン系																																																																																																																											
・	・ブラック																																																																																																																											
・	・ステンカラー																																																																																																																											
・	・着色塗膜																																																																																																																											
・	・塗装材料 ()																																																																																																																											
・	・焼付け方法 () コート () ベーク																																																																																																																											
支点間距離 (h)	たわみ量	状態																																																																																																																										
※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと																																																																																																																										
・4mを超える	・1/200×h	・																																																																																																																										
種類	層間変位 (h=支点間距離)	状態																																																																																																																										
鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない																																																																																																																										
鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない																																																																																																																										
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	・																																																																																																																										
コンクリートの種類	設計基準強度 (F _c)	所要スランブ (cm)																																																																																																																										
※経量コンクリート1種	※30N/mm ²	※12cm以下																																																																																																																										
金物種類及び部位	内部	外部																																																																																																																										
PC板打込み金物	※E種	※A種																																																																																																																										
PC板打込み取付けボルト	※F種	※ステンレスボルト																																																																																																																										
2次ファスナー	※E種	※A種																																																																																																																										
取付けボルト	※F種	※F種																																																																																																																										
レベル調整ボルト	※F種	※F種																																																																																																																										
施工箇所	シーリング材の種類																																																																																																																											
カーテンウォール板間目地	記号																																																																																																																											
	主成分による区分																																																																																																																											
	耐久性による区分																																																																																																																											
<p>簡易気密型ドアセット性能値 (16.5.2)</p> <p>※適用する (適用場所は建具表による)</p> <p>外部に面する鋼製建具の耐風圧性 (16.5.2) (表16.2.1)</p> <p>※適用する (適用場所は建具表による)</p> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.5.2) (16.2.2)</p> <p>・適用する (遮音性の等級:)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.5.2) (16.2.2)</p> <p>・適用する (断熱性の等級:)</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追従性の等級 (16.5.2) (16.2.2)</p> <p>・適用する (面内変形追従性の等級:)</p> <p>ビニル被覆鋼板 (16.5.3)</p> <p>・適用する</p> <p>カラー鋼板 (16.5.3)</p> <p>○適用する</p> <p>召合せ、縦小口包み板等の材質 (16.5.3)</p> <p>※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金押出型材</p> <p>鋼板の厚さ (16.5.4) (表16.5.1)</p> <p>○0.6mm</p> <p>※表16.5.1による (1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2400mmを超える場合を除く)</p>	<p>15 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>※バラン</td> <td>・スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローハット形</td> <td>・ステンレス鋼板 (SUS304)</td> </tr> <tr> <td>・ファイバークラスタイプ</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・パーチカル形</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>耐風圧性能による区分 ・50 ・75 ・100 ・125</p>	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	※スチールタイプ	※バラン	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローハット形	・ステンレス鋼板 (SUS304)	・ファイバークラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・			・パーチカル形	・	<p>17 1 1 1 1</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は一般社団法人日本建築学会JASS14による。</p> <p>材料の種類 (17.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・「標仕」16.2.3のアルミニウム製</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・建具の材料による</td> </tr> </table> <p>カーテンウォール方式</p> <p>・方立方式</p> <p>シーリング材及びガラス取付け材料</p> <p>下記以外は「標仕」表9.7.1による (9.7.2) (17.2.2) (表9.7.1)</p> <p>被着体の組合せ</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>主成分による区分</th> <th>耐久性による区分</th> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>石、タイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造ガasket (17.2.2)</p> <p>・適用しない ・適用 (施工箇所: 図示)</p> <p>断熱材 (17.2.2)</p> <p>・適用しない ・適用 (種類: 厚さ (mm) : 施工箇所 図示)</p> <p>製品の寸法許容差 ※「標仕」表17.2.1 (17.2.3) (表17.2.1)</p> <p>表面処理 (17.2.3) (表14.2.1~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色彩等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・無着色</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ブラウン系</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ブラック</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ステンカラー</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・着色塗膜</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・塗装材料 ()</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・焼付け方法 () コート () ベーク</td> </tr> </table> <p>ガラス溝の寸法、形状等 (17.2.3)</p> <p>・</p> <p>※カーテンウォール製作所の仕様による</p> <p>躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.2</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.3</p> <p>構造ガasketを用いるガラスの取付け () (17.2.6)</p> <p>耐風圧性能 (17.1.3)</p> <p>性能値 ※建築基準法施行令第87条および建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること</p> <p>・正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること</p> <p>主要部材のたわみ (h=支点間距離)</p> <table border="1"> <tr> <th>支点間距離 (h)</th> <th>たわみ量</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>※4m以下</td> <td>※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下</td> <td>※残留変形及び有害な変形が起らないこと</td> </tr> <tr> <td>・4mを超える</td> <td>・1/200×h</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>耐震性能 (17.1.3)</p> <p>設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0</p> <p>垂直方向 (KV) ・0.5</p> <p>建物の構造 (h=支点間距離)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>層間変位 (h=支点間距離)</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>鉄骨造</td> <td>※±(1/150)×h以上</td> <td>※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>※±(1/200)×h以上</td> <td>※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない</td> </tr> <tr> <td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類	規格等	・アルミニウム製	・「標仕」16.2.3のアルミニウム製	・	・建具の材料による	記号	主成分による区分	耐久性による区分	金属	ガラス			石、タイル		ガラス	ガラス		種類	色彩等	・	・無着色	・	・ブラウン系	・	・ブラック	・	・ステンカラー	・	・着色塗膜	・	・塗装材料 ()	・	・焼付け方法 () コート () ベーク	支点間距離 (h)	たわみ量	状態	※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと	・4mを超える	・1/200×h	・	種類	層間変位 (h=支点間距離)	状態	鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない	鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない	鉄骨鉄筋コンクリート造	・	・	<p>2 PCカーテンウォール</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は(社)日本建築学会JASS14による (17.3.2)</p> <p>コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)</p> <p>※「標仕」17.3.2による</p> <p>・下表による。ただし、下表以外は「標仕」16.10.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度 (F_c)</th> <th>所要スランブ (cm)</th> </tr> <tr> <td>※経量コンクリート1種</td> <td>※30N/mm²</td> <td>※12cm以下</td> </tr> </table> <p>鉄筋 ※SD295A (17.3.2)</p> <p>補強鉄線の寸法 ※径3.2mm以上 (17.3.2)</p>	コンクリートの種類	設計基準強度 (F _c)	所要スランブ (cm)	※経量コンクリート1種	※30N/mm ²	※12cm以下																																								
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール																																																																																																																									
※スチールタイプ	※バラン	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																									
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローハット形	・ステンレス鋼板 (SUS304)																																																																																																																									
・ファイバークラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・																																																																																																																									
		・パーチカル形	・																																																																																																																									
種類	規格等																																																																																																																											
・アルミニウム製	・「標仕」16.2.3のアルミニウム製																																																																																																																											
・	・建具の材料による																																																																																																																											
記号	主成分による区分	耐久性による区分																																																																																																																										
金属	ガラス																																																																																																																											
	石、タイル																																																																																																																											
ガラス	ガラス																																																																																																																											
種類	色彩等																																																																																																																											
・	・無着色																																																																																																																											
・	・ブラウン系																																																																																																																											
・	・ブラック																																																																																																																											
・	・ステンカラー																																																																																																																											
・	・着色塗膜																																																																																																																											
・	・塗装材料 ()																																																																																																																											
・	・焼付け方法 () コート () ベーク																																																																																																																											
支点間距離 (h)	たわみ量	状態																																																																																																																										
※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと																																																																																																																										
・4mを超える	・1/200×h	・																																																																																																																										
種類	層間変位 (h=支点間距離)	状態																																																																																																																										
鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない																																																																																																																										
鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らない																																																																																																																										
鉄骨鉄筋コンクリート造	・	・																																																																																																																										
コンクリートの種類	設計基準強度 (F _c)	所要スランブ (cm)																																																																																																																										
※経量コンクリート1種	※30N/mm ²	※12cm以下																																																																																																																										

ユニットおよびその他工事	20 ①フリーアクセスフロア (20.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>仕上り高 (mm)</th> <th>適用地震時水圧</th> <th>耐荷重性能</th> <th>表面仕上げ材</th> </tr> <tr> <td>調整室</td> <td>パネル工法・溝構法</td> <td>100</td> <td>1.0G・0.6G</td> <td>3000N・5000N</td> <td>帯電防止床タイル・タイルカーペット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パネル工法・溝構法</td> <td></td> <td>1.0G・0.6G</td> <td>3000N・5000N</td> <td>帯電防止床タイル・タイルカーペット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パネル工法・溝構法</td> <td></td> <td>1.0G・0.6G</td> <td>3000N・5000N</td> <td>帯電防止床タイル・タイルカーペット</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、「標仕」19章内装工事によるスロープおよびポーター ※製造所の標準仕様 図示コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事) ・コンセントの箇所数は図示 配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1か所以上 フリーアクセスフロア全面積に対する設置割合 ※20～30パーセント</p> <p>空調用吹き出しパネル ※無し ・あり (※固定式 ・可変式 施工箇所は図示)</p>	施工箇所	構法	仕上り高 (mm)	適用地震時水圧	耐荷重性能	表面仕上げ材	調整室	パネル工法・溝構法	100	1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット		パネル工法・溝構法		1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット		パネル工法・溝構法		1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット	9 ブラインド (20.2.12)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅 (mm)</th> <th>ヘッドボックス、ボトムレールの材質</th> </tr> <tr> <td>横型</td> <td>※ギア式・コード式・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> </tr> <tr> <td>縦型</td> <td>※1本操作コード・2本操作コード</td> <td>※アルミスラット・クロススラット</td> <td>※100</td> <td></td> </tr> </table> <p>防炎性能表示あり (20.2.13) 操作方式、幅、高さ</p>	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス、ボトムレールの材質	横型	※ギア式・コード式・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	縦型	※1本操作コード・2本操作コード	※アルミスラット・クロススラット	※100		①階段手摺	<p>材種 ○アルミ材に樹脂被膜</p> <p>形式 ○ブラケット：アルミ押出材、カバー付</p> <p>寸法 ○40φ</p> <p>メーカー ○ナカ工業「スリム目地タイプ」、または同等品</p>		
	施工箇所	構法	仕上り高 (mm)	適用地震時水圧	耐荷重性能	表面仕上げ材																																									
	調整室	パネル工法・溝構法	100	1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット																																									
		パネル工法・溝構法		1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット																																									
		パネル工法・溝構法		1.0G・0.6G	3000N・5000N	帯電防止床タイル・タイルカーペット																																									
	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス、ボトムレールの材質																																										
	横型	※ギア式・コード式・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製																																										
	縦型	※1本操作コード・2本操作コード	※アルミスラット・クロススラット	※100																																											
	2 可動間仕切	(20.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>パネル部の総厚さ (mm)</th> <th>表面材種厚さ (mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>不燃材の認定</th> </tr> <tr> <td>パネル式・スタッド式・スタッドパネル式</td> <td></td> <td>※鋼板</td> <td>※焼付塗装</td> <td>あり</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A6512によるもの ・製造所の仕様による</p>	構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種厚さ (mm)	表面仕上げ	不燃材の認定	パネル式・スタッド式・スタッドパネル式		※鋼板	※焼付塗装	あり	10 ロールスクリーン	②流し台ユニット	<p>材種 ○扉・キャブネット；ホーロー、トップ；ステンレス</p> <p>形式 ○図示による</p> <p>寸法 ○図示による</p> <p>メーカー ○リクシルサンウェーブ「GPシリーズ」、または同等品</p>																															
	構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種厚さ (mm)	表面仕上げ	不燃材の認定																																										
パネル式・スタッド式・スタッドパネル式		※鋼板	※焼付塗装	あり																																											
3 移動間仕切(上吊パネル式間仕切)	(20.2.4)	<table border="1"> <tr> <th>遮音性能による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面材</th> <th>表面仕上げ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一般タイプ</td> <td></td> <td>※鋼板</td> <td>※焼付塗装・壁紙張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>遮音タイプ</td> <td></td> <td>※鋼板</td> <td>※焼付塗装・壁紙張り</td> <td></td> </tr> </table> <p>・製造所の仕様による</p>	遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所	一般タイプ		※鋼板	※焼付塗装・壁紙張り		遮音タイプ		※鋼板	※焼付塗装・壁紙張り		11 カーテン	③調乳用温水器	<p>材種 ○専用台：メラミン、化粧合板；ポリ合板</p> <p>形式 ○シンク一体型</p> <p>寸法 ○W900×D619×H1398</p> <p>メーカー ○コンビ「CH22-3」、または同等品</p>																											
遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所																																											
一般タイプ		※鋼板	※焼付塗装・壁紙張り																																												
遮音タイプ		※鋼板	※焼付塗装・壁紙張り																																												
4 トイレブース	(20.2.5)	<table border="1"> <tr> <th>表面仕上げ材</th> <th>脚部</th> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)</td> <td>※幅木タイプ ・足金物タイプ</td> </tr> </table> <p>・製造所の仕様による</p>	表面仕上げ材	脚部	メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)	※幅木タイプ ・足金物タイプ	12 カーテンレール	④ユニバーサルシート	<p>メーカー aタイプ：TOTO「EWCS20BS」、または同等品</p> <p>bタイプ：TOTO「EWCS00S」、または同等品</p>																																						
表面仕上げ材	脚部																																														
メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)	※幅木タイプ ・足金物タイプ																																														
5 階段滑り止め	(20.2.6)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> </tr> <tr> <td>※ステンレスSUS304</td> <td>ビニルタイヤ (○有 ・無)</td> <td>約35mm</td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table>	材種	形状	幅 (mm)	取付け工法	※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ (○有 ・無)	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法	13 プレキャストコンクリート工事	⑤チェンジングボード	<p>メーカー TOTO「YKA40」、または同等品</p>																																		
材種	形状	幅 (mm)	取付け工法																																												
※ステンレスSUS304	ビニルタイヤ (○有 ・無)	約35mm	※接着工法 ・埋込み工法																																												
6 黒板	(20.2.8)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色</th> </tr> <tr> <td>黒板 JIS S 6007</td> <td>※焼付け</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※緑</td> </tr> </table>	種類	色	黒板 JIS S 6007	※焼付け		※緑	14 間知石およびコンクリート間知ブロック積み	⑥ベビーキープシート	<p>メーカー TOTO「YKA13」、または同等品</p>																																				
種類	色																																														
黒板 JIS S 6007	※焼付け																																														
	※緑																																														
7 表示標識	(20.2.10)	<p>衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し</p> <p>誘導標識 ※図示 ・無し</p> <p>非常用進入口表示 ※図示 ・無し</p> <p>室名札、ピクトグラフ、室内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 ※図示</p>	15 その他	⑦おむつかえシート (ベビーシート)	<p>メーカー TOTO「YKA24」、または同等品</p>																																										
8 煙突ライニング	(20.2.11)	<p>煙突用成形ライニング材 (20.2.11) 安全使用温度 ※650℃ 製造所 評価名簿による</p> <p>キャスト耐火材 (20.2.11) 安全使用温度 ※400℃ 製造所 監督員の承諾する製造所</p>	16 公会堂椅子	⑧ウッドデッキ	<p>材種 ○再生木</p> <p>形式 ○中空押し出し材</p> <p>寸法 ○厚25</p> <p>メーカー ○ハンディテクノ QCS工法、または同等品</p>																																										

21 排水工事	1 屋外雨水排水工事	※図面および横浜市環境創造局「横浜市排水設備要覧」による	22 舗装工事	1 植木の植栽基盤整備	芝および地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)
	2 排水管材料	・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (21.2.1) ・硬質ポリ塩化ビニル管		2 植込み用土	・現場発生土の良質土 (23.2.3) ・客土(・畑土 ・黒土)
	3 排水管の布設	・塩化ビニル管の基礎指定 ※有 ・無し (21.2.3)		3 土壌改良材	※適用する 適用しない (23.2.3)(23.2.4) 施工箇所 ※図示 土壌改良材 ※下水汚泥コンポスト ・パーク堆肥
	4 排水管の地業材料	・砂事業の砂 (21.2.3) ・シルト ・川砂 ・砕砂 ・切込砕石 ※再生クラッシュラン ・切込砂利 ・粒度 ・C-40 ・C-30 ・C-20		4 樹木	樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みもの並びに数量 (23.3.2) ※図面による
	5 その他	・		5 支柱材	※丸太() ・竹 (23.3.2) 防腐処理方法は、加圧式防腐処理とする。
22 舗装工事	1 盛土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.7)	6 幹巻き用材料	※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)	
	2 路床安定処理	※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)	7 新植樹木の枯補償期間	引渡しの日から ※1年 ・年 (23.3.4)	
	3 路床土の支持力比(CBR)試験	種類 ※高炉セメントB種 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg/m ³ (目標CBR ※5以上)	8 移植樹木の枯損処置	引渡しの日から ※1年 (23.3.6)	
	4 路床締固め度の試験	・行う (※乱した土 ・乱さない土) (22.2.5) ・行わない	9 芝張り	種類 ※コウライシバ ・ノシバ (23.4.2) 吹付けは種用種子 ・種子の種類 ※23.4.2(c)(1)(ii) ・ ・種子の量 ()	
	5 路盤材料	※再生クラッシュラン(RC-40) (22.3.3) ・クラッシュラン(C-40) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ(CS-40)	10 屋上緑化	芝張りの工法 ・目地張り ・べた張り (23.4.3)	
	6 アスファルト舗装	車道部の基層 ※無し ・あり (22.4.2)(表22.4.1) アスファルト (22.4.3) ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)	11 その他	植栽基盤 (23.5.2) 土壌層の厚さ ・図示 材料 [屋上緑化システム] (23.5.3) 排水層 ・適用する (・軽量骨材 ・板状成形品) ・適用しない 土壌層 植込み用土 ・適用する ※改良土 ・ ・適用しない 屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数並びに刈り込みものの適用及び数量 ・図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・図示 工法 (23.5.4) 固定方法 ・図示 支柱の設置及び形式 ・図示 かん水装置の設置及び種類 ・図示	
	7 カラー舗装	アスファルト混合物の抽出試験 (22.4.6)(22.6.2)(22.6.3) ※行わない ・行う			
	8 コンクリート舗装	車道部の基層 (22.6.2)(22.6.3) ※無し ・あり カラー舗装の種類 ※加熱系混合物 ・常温系混合物			
	9 透水性アスファルト舗装	早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3) 注入目地材料 (22.5.3)(表22.5.3) ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 溶接金網 ※あり ・無し (22.5.3)(22.5.4) 厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)			
	10 ブロック系舗装	アスファルト混合物の抽出試験 (22.7.6)(22.4.6) ※行わない ・行う			
		・コンクリート平板舗装(施工箇所：図示) (22.9.2)(22.9.3)			
		種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材 ・普通平板(N) ・300角 ※60 ※砂 ・カラー平板(C) ・モルタル ・流出平板(W) ・撥石平板(S)			
	・インターロッキングブロック舗装 (22.9.2)(22.9.3) (施工箇所：図示)				
	種類 厚さ(mm) 色彩及び表面加工等 ※標準ブロック 車道部 ※80 ※標準品 ・透水性ブロック 歩道部 ※60 ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック ※80 ・100 製造所 ※監督員の承諾する製造所				
	・舗石舗装				
	種類 厚さ(mm) 施工方法 基層 ※小舗石 (花こう岩) ※80-100 ※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装				
11 街きよ、縁石	砂利敷き (22.10.2) ・A種 ・B種				
12 その他	・				

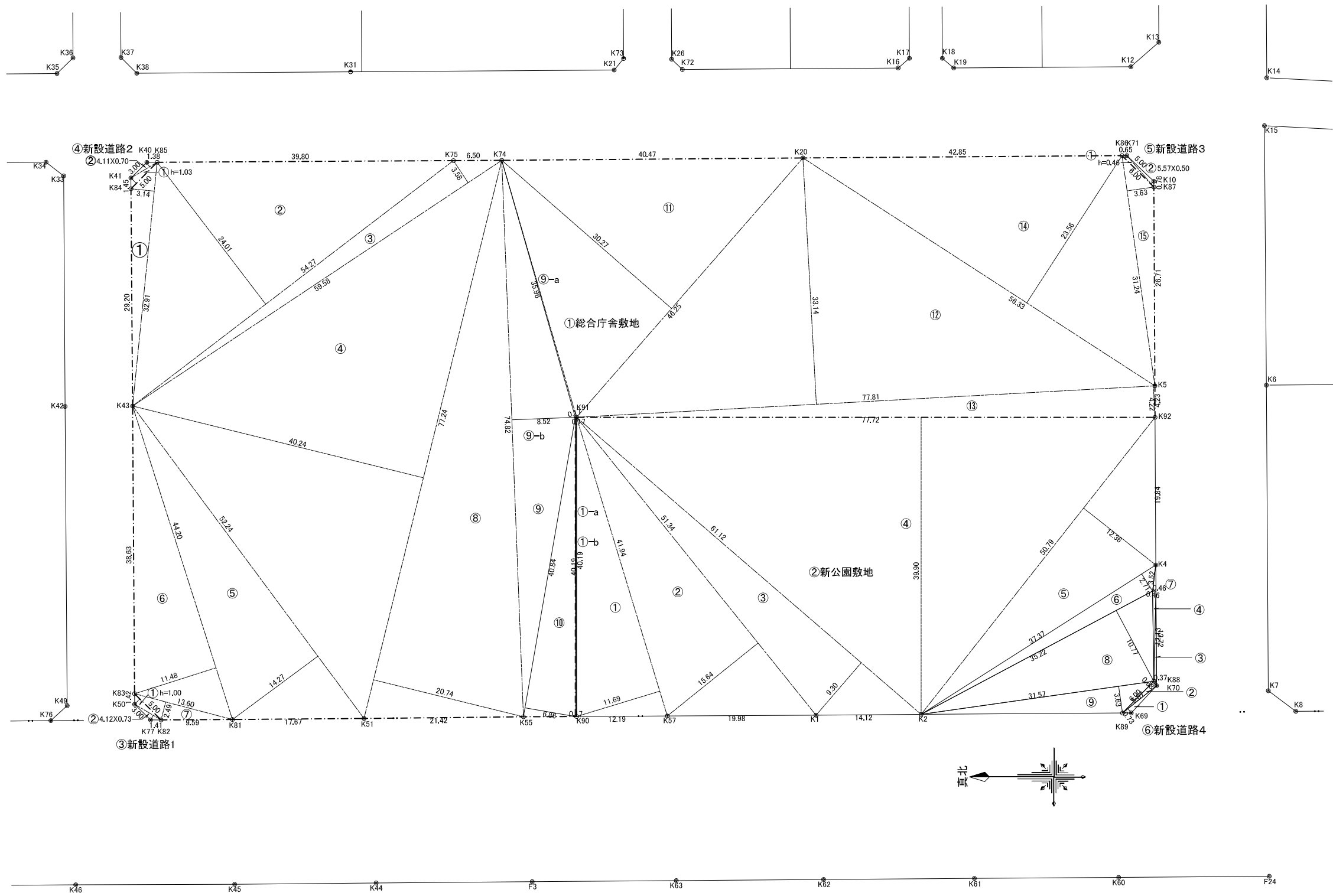
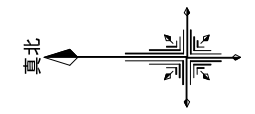
項目	内容	建築	電気	空調	衛生	別途	備考	項目	内容	建築	電気	空調	衛生	別途	備考	項目	内容	建築	電気	空調	衛生	別途	備考	項目	内容	建築	電気	空調	衛生	別途	備考								
【共通】								【スリーブ・開口補強】									【家具・仕上ユニット・その他】																						
仮設	仮囲い	●						躯体貫通	基礎梁の運通管・通気管・人通管	●						機械警備	機械警備用センサー及び同配線						□		家具・機器	家具リストに記載されている機器	●												
	共通足場	●					外部足場等		各種配管用スリーブ及び型枠取付	●	●	●					●									□		洗面化粧台	洗面化粧台本体	●					排水トラップも含む				
	作業足場	●	●	●	●		各工事で使用するもの		同上 開口補強	●																													
	請負者事務所、材料置場等	●	●	●	●				床・壁の開口箱入れ		●	●	●																										
	監督員事務所	●							同上 開口補強	●																	洗面カウンター	洗面カウンター	●										
	交通整理員	●							各種貫通部の穴埋め及び補修	●	●	●	●																										
残土処分	残材・残土処分	●	●	●	●			同上 開口補強	●																														
								各種貫通部の防水処理	●	●	●	●																											
								屋上設備出入口の空隙充填	●	●	●	●																											
電力	工事用電力引込工事	●						躯体貫通部の防水処理	●	●	●	●													流し台等	流し台・コンロ台	●					排水トラップも含む							
	工事用電力引込負担金	●						床貫通スリーブまわりの防水処理	●																														
	工事用電力基本使用料	●	●	●	●			穴空け補修後の仕上	●																														
	本設電力引込工事							躯体以外の開口・貫通	天井・壁の切り込み、補強	●	△	△	△																										
	受電後、引き渡しまでの基本料金	●	●	●	●				スイッチ・コンセント等の小開口	△	●	●	●																										
	受電後、引き渡しまでの使用料金	●	●	●	●				壁付器具の裏板補強	△																													
上下水道	工事用上下水道引込工事	●						防火区画	貫通部の耐火処理	●	●	●																											
	工事用上下水道引込負担金	●						【点検口・ガラリ・排水設備】																															
	工事用上下水道基本使用料	●	●	●	●			点検口	天井点検口	●	△	△	△																										
	本設上下水道引込工事								PS・DS・EPS等の壁面点検口	●																													
	本設後、引き渡しまでの基本料金	●	●	●	●				床下点検口	●																													
	本設後、引き渡しまでの使用料金	●	●	●	●				外壁取付ガラリ	●	●	△																											
電話	工事用電話引込工事	●	●	●	●			同上 接続用アングル、防鳥網	●																														
	工事用電話引込負担金	●	●	●	●			バンドキャップ			●																												
	工事用電話基本使用料	●	●	●	●			ドアガラリ	●																														
	本設電話引込工事								排水	各種床面排水金物				●																									
	本設後、引き渡しまでの基本料金	●	●	●	●					遮付流しの排水金物	●																												
	本設後、引き渡しまでの使用料金	●	●	●	●					設備機器のドレン				●	●																								
光回線	本設光回線引込工事								化粧マンホール上蓋の表面仕上	●																													
	本設後、引き渡しまでの基本料金								駐車場の排水	●			●																										
	本設後、引き渡しまでの使用料金								ルーフドレン取付	●																													
CATV	本設CATV引込工事								屋外縦樋配管・取付(地盤面まで)	●																													
	本設後、引き渡しまでの基本料金								内樋配管・取付	●																													
	本設後、引き渡しまでの使用料金								埋戻しビット内の雨水排水管	●			●																										
申請	工事上の各種申請届出及び費用	●	●	●	●				内樋の防露処理	●																													
									外構 側溝・集水桝						△																								
解体撤去	既存建物の解体撤去								外構 上配以降の排水設備				●																										
	既存上下水道・ガス管の撤去																																						
電波障害	(新築建物による電波障害調査)																																						
	事前・事後の電波障害調査																																						
	(工事施工による電波障害調査)																																						
	工事施工に関する電波障害調査 同上の調査結果による対策工事	△ △																																					
【水槽・ビット・排水溝】																																							
躯体水槽	消火水槽等でRC造のもの	●							【設備関連】																														
	設備配管用RC造ビット及び釜場	●							動力	動力操作盤及び電動機端子接続 までの配管・配線				●																									
	水槽・ビット内防水処理	●								冷凍機用動力操作盤及び電源の 二次側配管・配線					●																								
	水槽・ビットのマンホール・タラップ	●								パッケージ型空調機用電源で手元 開閉器以降の配管・配線				●																									
	ビット内人通孔・通気孔・通水孔	●								制御	制御盤までの一次側配管・配線				●																								
排水溝	屋内各種排水溝及び蓋	●								空調用制御機器及び操作機器取 付とその配管・配線				●																									
	屋内排水溝端部集水桝及び蓋 排水目皿及び配管	●								衛生用液面制御機器取付とその 配管・配線					●																								
【各種基礎】										水中ポンプより制御盤までの二次 側配管・配線				●																									
	機器の基礎									警報	ガス漏れ警報装置及び配管・配線																												
	コンクリート基礎(屋内)	●									衛生器具	便器及び身障者便所の電源				●																							
	コンクリート基礎(屋外)	●										電話	電話用配管及び端子盤				●																						
	コンクリート基礎の仕上(屋内)	●											電話機	●																									
	コンクリート基礎の仕上(屋外)	●											電話用配線	●																									
機器、水槽等のアンカー取付		●	●	●							LAN・光回線	光回線の配管				●																							
鋼製基礎及び架台		●	●									サーバー機器類及び設置																											
												LAN回線の配管				●																							
												LAN回線の配線																											



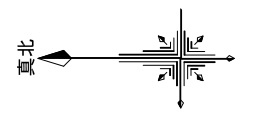


案内図

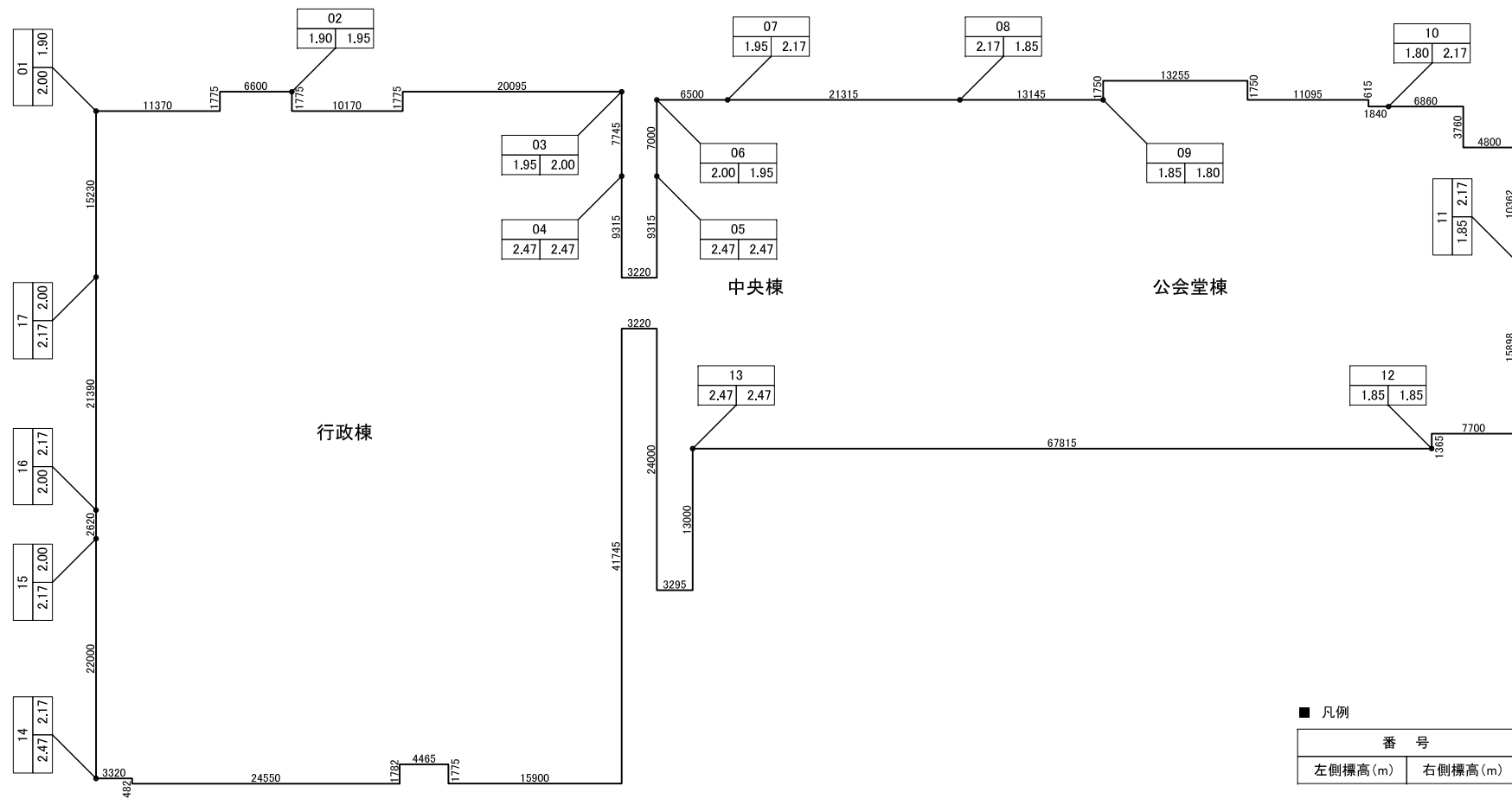
管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工 事 名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)	年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/200 A3=1/400	図面名称 案内図・配置図	図面番号 A-012
株式会社 国設計	設計者 国設計	図面枚数 1	図面枚数 1	図面枚数 1	図面枚数 1	図面番号 A-012



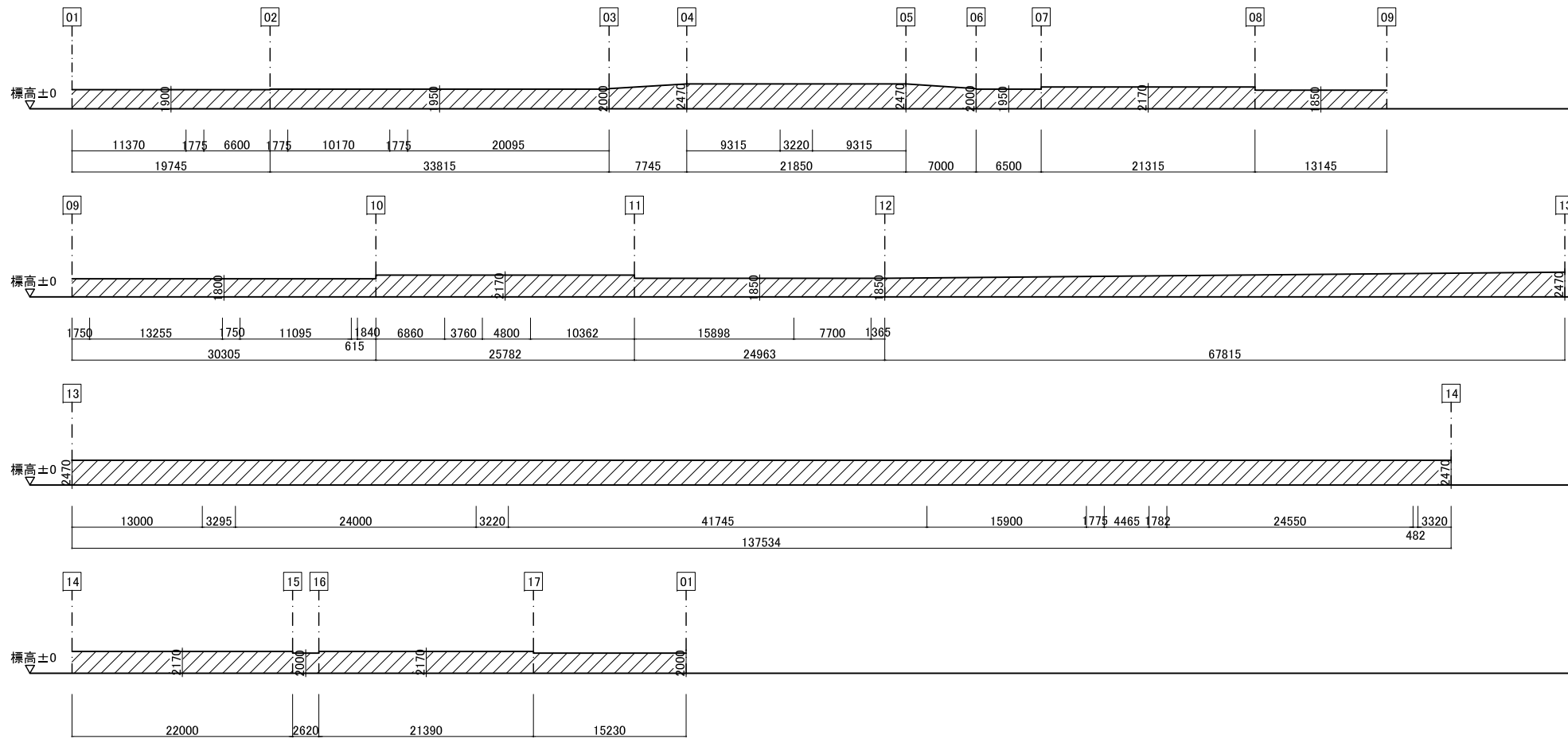
①金沢区総合庁舎敷地面積			
番号	底辺	高さ	倍面積
①	32.91	3.14	103.3374
②	54.27	24.01	1,303.0227
③	59.58	3.58	213.2964
④	77.24	40.24	3,108.1376
⑤	52.24	14.27	745.4648
⑥	44.20	11.48	507.4160
⑦	13.60	2.49	33.8640
⑧	77.24	20.74	1,601.9576
⑨-a	35.96	0.17	6.1132
⑨-b	74.82	8.52	637.4664
⑩	40.84	6.86	280.1624
⑪	46.25	30.27	1,399.9875
⑫	77.81	33.14	2,578.6234
⑬	77.81	4.22	328.3582
⑭	56.33	23.56	1,327.1348
⑮	31.24	3.63	113.4012
倍面積の計			14,287.7436
合計面積			7,143.8718
地積			7,143.87

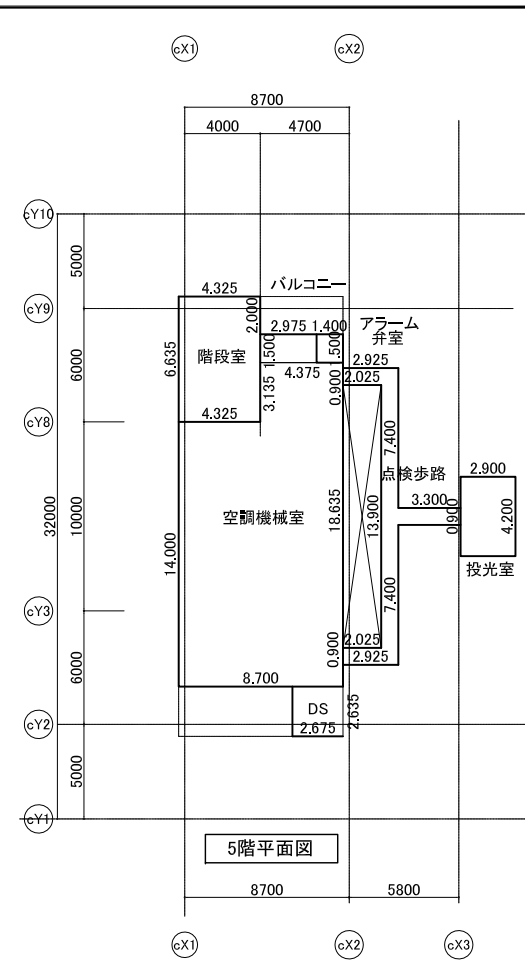
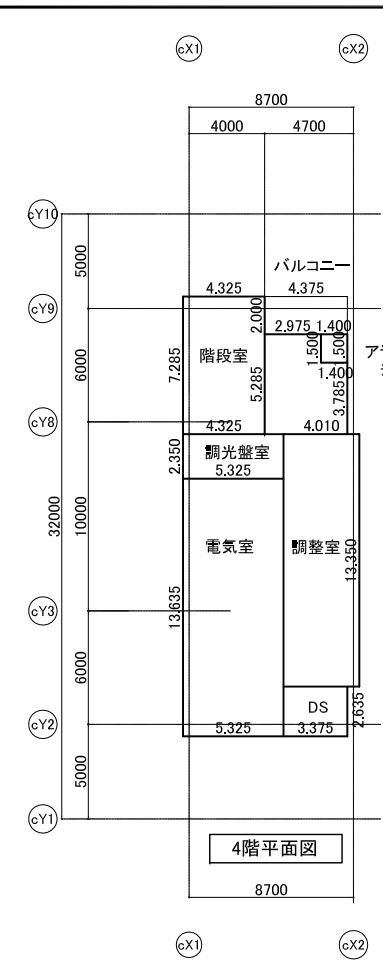
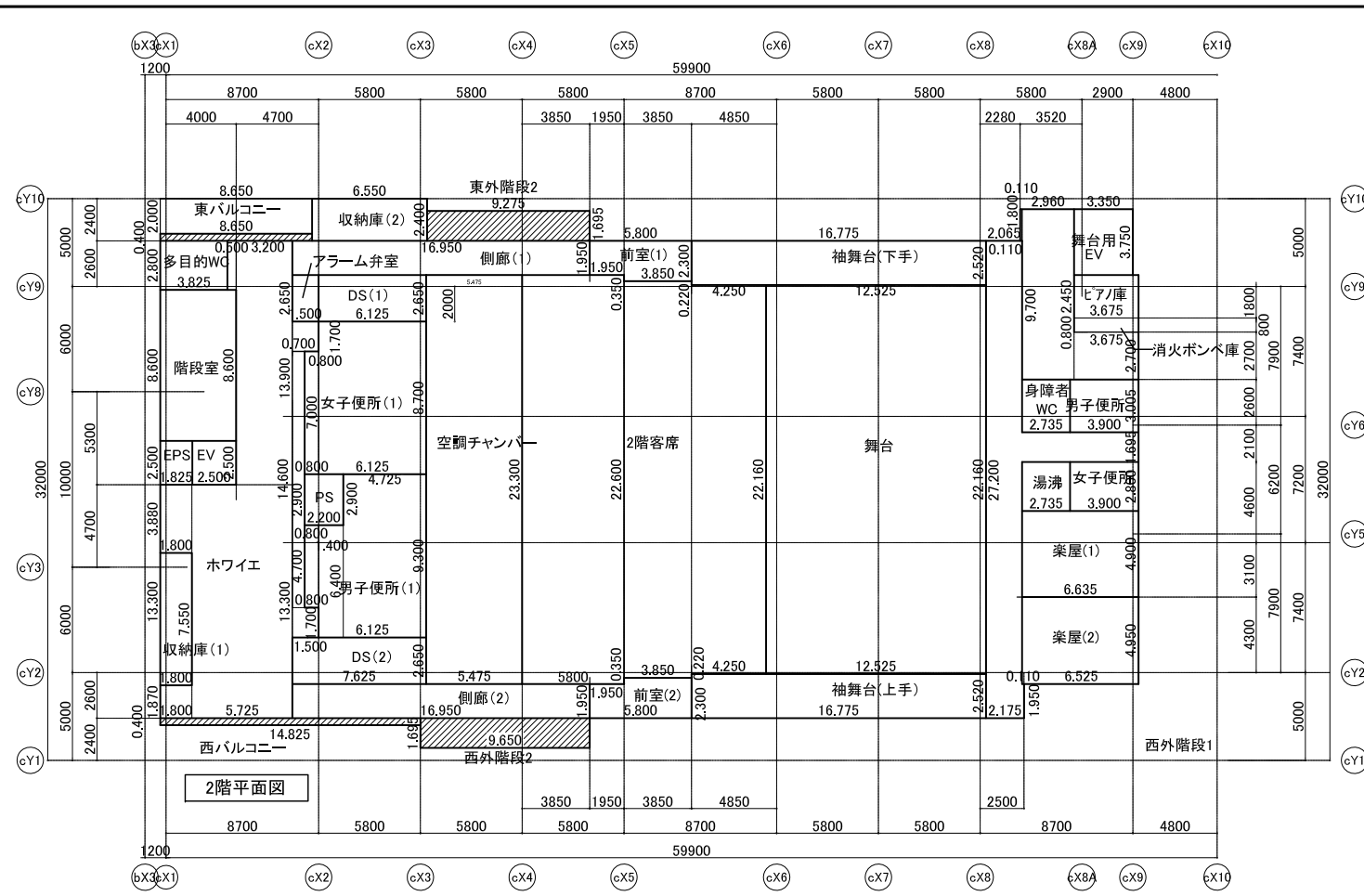


- 凡例
- ◎ コンクリート杭
 - 鋳物杭
 - ⊕ 金属プレート
 - 鉄 釘
 - 図上点

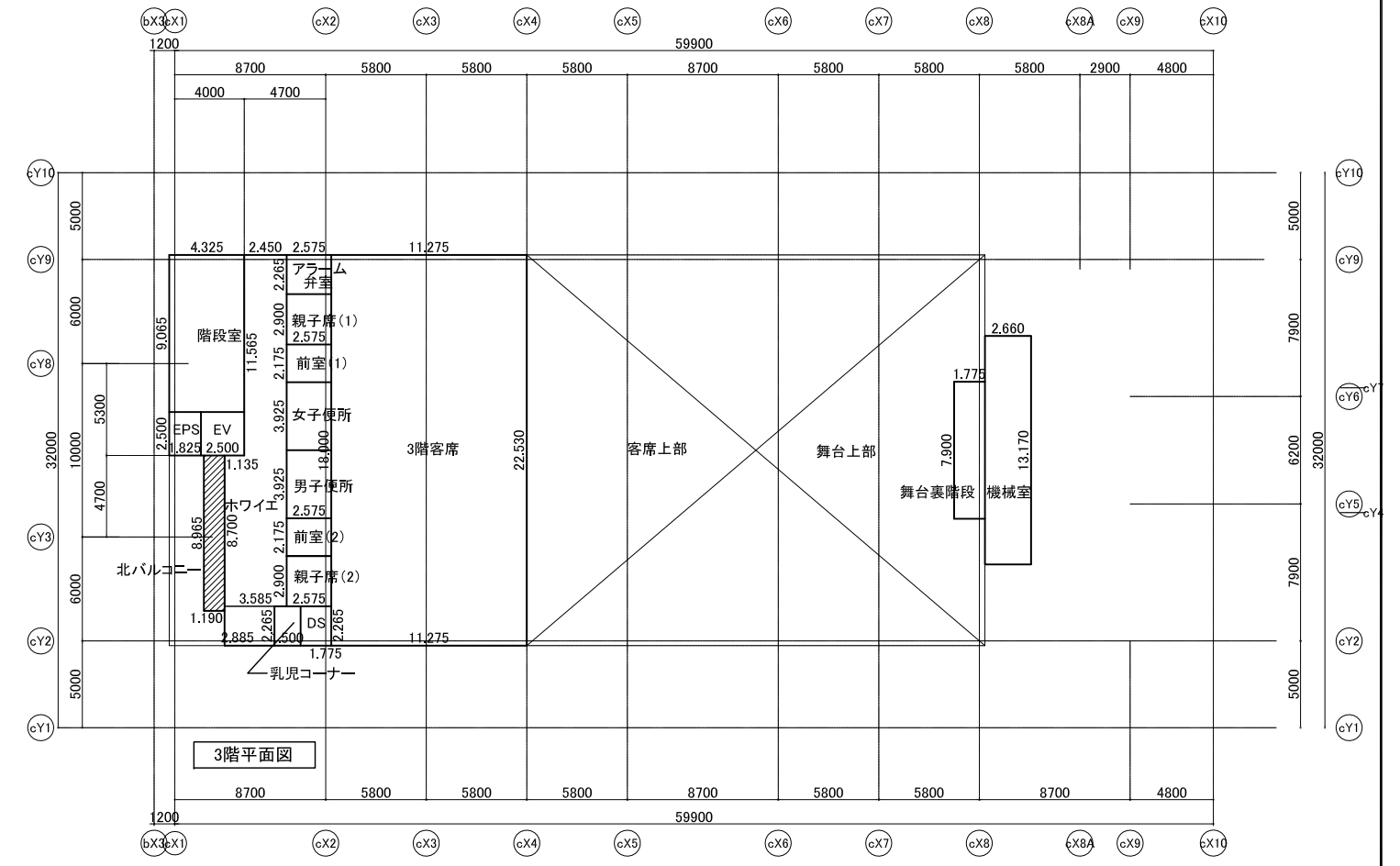
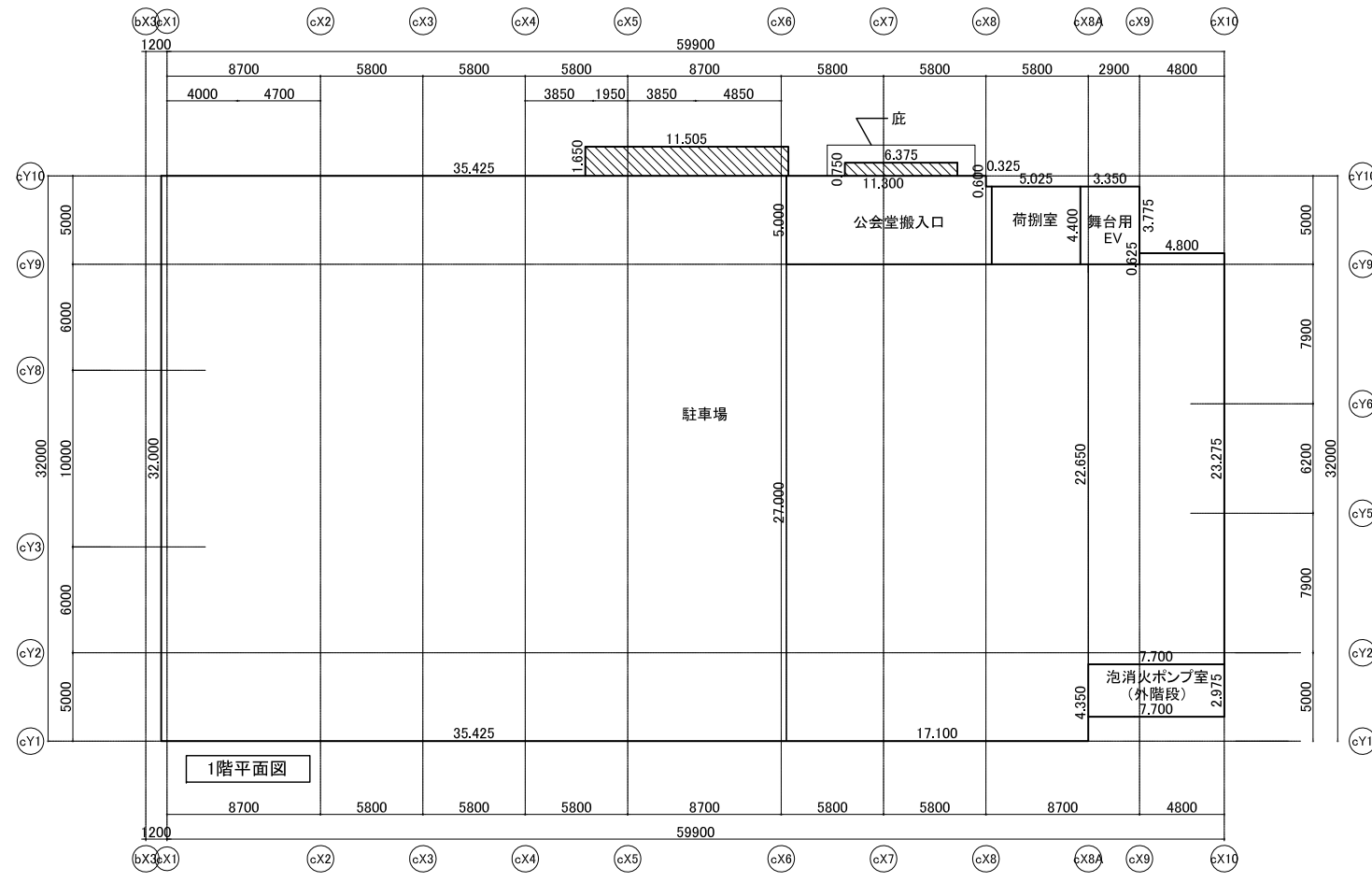


■ 平均地盤面 求積表			
区 間	辺長(m)	高さ(m)	面積(m ²)
01-02	19.745	1.900	37.51550
02-03	33.815	1.950	65.93925
03-04	7.745	(2.000+2.470) × 7.745 × 0.5	17.310075
04-05	21.850	2.470	53.96950
05-06	7.000	(2.470+2.000) × 7.000 × 0.5	15.64500
06-07	6.500	1.950	12.67500
07-08	21.315	2.170	46.25355
08-09	13.145	1.850	24.31825
09-10	30.305	1.800	54.54900
10-11	25.782	2.170	55.94694
11-12	24.963	1.850	46.18155
12-13	67.815	(1.850+2.470) × 67.815 × 0.5	146.48040
13-14	137.534	2.470	339.70898
14-15	22.000	2.170	47.74000
15-16	2.620	2.000	5.24000
16-17	21.390	2.170	46.41630
17-01	15.230	2.000	30.46000
計	478.754		1,046.349295
平均地盤面	1,046.349295 ÷ 478.754 =		2.18
			小数点第3位切捨て





- 凡例
- 吹きさらしの廊下等で、床面積に算入される部分
 - 建築面積に算入される部分



■注記		管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
年月日 平成28年8月	縮尺 1/100	図面名称 床面積積算図	図面番号	図面枚数
設計者 株式会社 国設計	図面番号	図面枚数	図面番号	図面枚数
				A-016

■ 内部仕上表 公会堂(1)																									
階数	室名	天井高 床仕上高 スラブ高	床		幅木		壁			柱		天井		梁型		廻縁	ブラインドBOX ブラインド	備考							
			仕上	仕上	部位	下地1	下地2	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上											
1階	駐車場 基準:公会堂1FL=1.95	3.000 -50~+100 -50~+100 (上フカシ+30)	合成樹脂塗床 排水溝:防水モルタルの上、 合成樹脂塗床	合成樹脂塗床 H=100	A	RC	複層Si	RC	複層Si	LGS	CSB厚8 EP-G (GW厚50 32kg 敷き込み)	RC	複層Si	塩ビ製		区画線、タイヤ止め、コーナーガード 排水グレーチング:スチール製 別途工事: 1.駐車管理システム(出入口ゲート、料金機)									
					B	RC	複層Si																		
					C	RC	複層Si																		
					D	RC	複層Si																		
公会堂搬入口 (駐車場)	3.300 -50~±0 -50~±0 (上フカシ+30)	合成樹脂塗床	合成樹脂塗床 H=100	A	RC	複層Si	RC	複層Si	LGS	CSB厚8 EP-G (GW厚50 32kg 敷き込み)	RC	複層Si	塩ビ製		コーナーガード										
				B	RC	複層Si																			
				C	RC	複層Si																			
				D	RC	複層Si																			
荷捌室	3.000 -50~±0 -50~±0 (上フカシ+30)	合成樹脂塗床	合成樹脂塗床 H=100	A	RC	複層Si	RC	複層Si	LGS	CSB厚8 EP-G	RC	複層Si	塩ビ製		コーナーガード										
				B	RC	複層Si																			
				C	RC	複層Si																			
				D	RC	複層Si																			
泡消火ポンプ室	直天 ±0 ±0	合成樹脂塗床	合成樹脂塗床 H=100	各面	RC				RC	複層Si															
2階	客席	10,500~5,800 ±0~+4,700 -300~+4,400	耐水合板厚15 +フローリング厚15 湿式浮床(FU-1) コンクリート厚150 大引き、防振ゴム@900 GW厚50(32kg)敷き込み	天然木化粧 パネル H=100	A (背面)	低層部	浮遮音壁 (WU-1)	LGS(100) + 木胴縁	(吸音)有孔銘木練付ボード厚6 CL (GW厚25 32kg充填)	RC	浮遮音壁(WU-1) + 銘木練付ボード厚6 CL	LGS	FGB厚8×2 EP-G 一部:GB-R厚12.5×2 EP-G スラブ下:遮音天井(CK-1)	素地	塩ビ製	可動椅子:72席 固定椅子:518席 段鼻:天然木厚30×75、溝彫込									
						上部	浮遮音壁 (WU-1)	LGS(100) + 木胴縁	(吸音)有孔CSB厚6 CL (GW厚25 32kg充填)																
						B (側面)	低層部	浮遮音壁 (WU-1)	LGS(100) + 木胴縁								(反射)GB-F厚15 + 銘木練付ボード厚6 CL								
							上部	浮遮音壁 (WU-1)	LGS(100) + 木胴縁								(反射)GB-F厚15 + CSB厚6 EP-G								
						C (プロセニウム側)	低層部	浮遮音壁 (WU-1)	LGS(100) + 木胴縁								(反射)GB-F厚15 + 銘木練付ボード厚6 CL								
							上部	浮遮音壁 (WU-1)	LGS(100) + 木胴縁								(反射)GB-F厚15 + CSB厚6 EP-G								
						D (側面)	低層部	浮遮音壁 (WU-1)	LGS(100) + 木胴縁								(反射)GB-F厚15 + 銘木練付ボード厚6 CL								
							上部	浮遮音壁 (WU-1)	LGS(100) + 木胴縁								(反射)GB-F厚15 + 銘木練付ボード厚6 CL								
						舞台	直天 +750 -300	檜集成材厚30 耐水合板厚15 木組下地 舞台下:合成樹脂塗床(防塵塗装) 湿式浮床(FU-1) コンクリート厚150 大引き、防振ゴム@900 GW厚50(32kg)敷き込み	一般部分 木 H=100 EP-G								A	プロセ上部	LGS	GB-F厚12.5 ×2枚 EP-G	【2階部分】 RC 浮遮音壁(WU-1) + GWB厚50(32kg) メッシュパネル押え	スノコ:スチールEP-G	スチール部分はEP-G		舞台吊物装置 (吊物用バトン、サスペンション用バトン、幕等) 床吹き出し換気口 舞台下部:移動席収納スペース
																	B	プロセ柱	LGS	GB-F厚15+銘木練付ボード厚6 CL					
																	C	外壁側	浮遮音壁(WU-1)	GWB厚50(32kg) 2階部分はGWB厚50・32kg メッシュパネル押え					
																	D	廊下側	浮遮音壁(WU-1)	GWB厚50(32kg) 2階部分はGWB厚50・32kg メッシュパネル押え					
スノコ	直天 5FL+670 5FL+670	C-100×50×20×2.3@150 EP-G	木 H=100 EP-G	A	プロセ上部	LGS	GB-F厚12.5×2枚張り	【舞台背面上部】 RC GWB厚50(32kg)	EP-G	スチール部分はEP-G															
				B	外壁側	浮遮音壁(WU-1)	GWB厚50(32kg) メッシュパネル押え																		
袖舞台(1) 袖舞台(2)	2.700 +750 -300	檜集成材厚30 耐水合板厚15 木組下地 湿式浮床(FU-1) コンクリート厚150 大引き、防振ゴム@900 GW厚50(32kg)敷き込み	木 H=100 EP-G	A	前室側	浮遮音壁(WU-1)	GWB厚50(32kg) メッシュパネル押え	RC	浮遮音壁(WU-1) + GWB厚50(32kg) メッシュパネル押え	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12 EP-G	塩ビ製													
				B	舞台側	浮遮音壁(WU-1)	GWB厚50(32kg) メッシュパネル押え																		
				C	楽屋側	浮遮音壁(WU-1)	GWB厚50(32kg) メッシュパネル押え																		
				D	外壁側	浮遮音壁(WU-1)	GWB厚50(32kg) メッシュパネル押え																		
前室(1) 前室(2)	2.700 +750 +730	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧パネル H=100	各面共通	RC	(GLI工法)GB-R厚12.5	腰:銘木練付ボード厚6 CL 上部:銘木練付ボード厚6 CL	RC	壁と同じ	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12		塩ビ製												
ホワイエ	2.700 ±0 -20	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧パネル H=100	A	RC	(GLI工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	RC	(GLI工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5 EP-G	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12		塩ビ製	○ ○ (バーチカル)	掲示板、ピクチャーレール 木製格子壁(準不燃材) 屏風設置スペース										
				B	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																		
				C	RC	(GLI工法)GB-R厚12.5	EP-G																		
				D	RC	(GLI工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																		
収納庫(1)	2.700 ±0 -10	ビニル床シート (SL 厚8)	ソフト巾木 H=60	A	RC	(GLI工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	RC	(GLI工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5 EP-G	LGS	GB-D厚9.5		塩ビ製												
				B	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																		
				C	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																		
				D	LGS	(GLI工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																		
収納庫(2)	2.700 ±0 -10	ビニル床シート (SL 厚8)	ソフト巾木 H=60	A	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	RC	(GLI工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5 EP-G	LGS	GB-D厚9.5		塩ビ製												
				B	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																		
				C	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																		
				D	RC		EP-G																		
側廊下(1) 側廊下(2)は左右対称	2.700 ±0~+750 -20~+730	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧パネル H=100	A	ホワイエ側					LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12		塩ビ製	スロープ手摺											
				B	RC	(GLI工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																		
				C	RC	(GLI工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																		
				D	RC	(GLI工法)GB-R厚12.5	EP-G																		

■注記) 1.壁仕上り欄のA,B,C,Dは、平面詳細図に記載の展開方向による。
2.壁仕上り下地欄に記載の壁仕様は、部分詳細図(1)による。

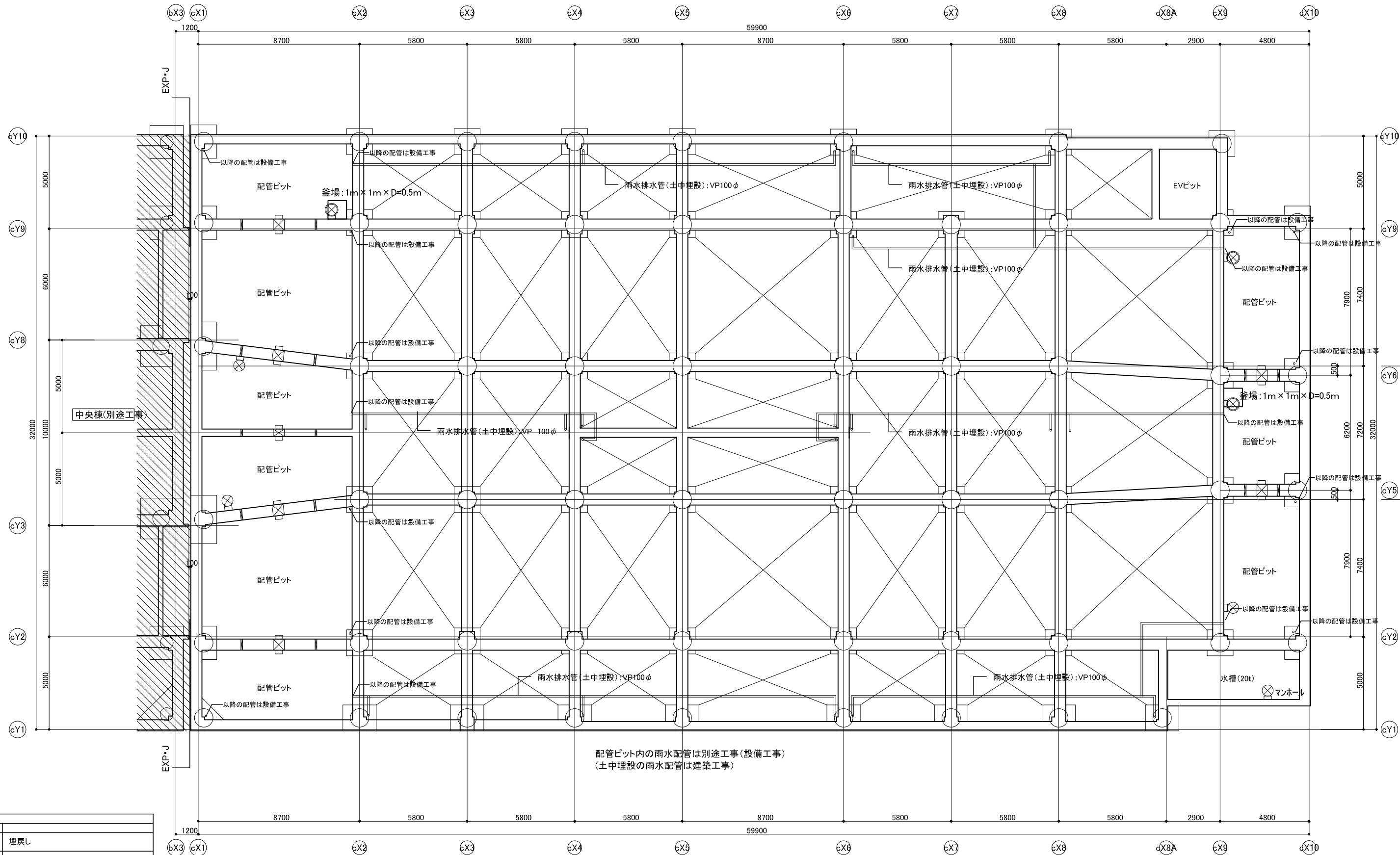
管理建築士 一級建築士 登録第168404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)	図面名称 内部仕上表(1)
年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/300 A3=1/300	図面番号 1	図面枚数 1
設計者 株式会社 国設計	製図者 田中 隆	校核者 田中 隆	図面番号 A-018

■ 内部仕上表 公会堂(2)																			
階数	室名	天井高 床仕上高 スラブ高	床		幅木		壁				柱		天井		梁型		廻縁	ブラインドBOX ブラインド	備考
			仕上	仕上	部位	下地1	下地2	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上					
2階	男子便所(1)	2.400 ±0 -10	ビニル床シート (SL 厚8)	ステンレス巾木 H=60	A	LGS				耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6	RC	(片壁LGS)耐水合板厚12 化粧CSB板厚6	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製		トイレブース、補助手摺、ライニング壁 ベビーキープ、杖用フック 汚垂石
					B	LGS(GW厚50・32kg充填)			耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6										
					C	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6											
					D	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6											
	男子便所(1) 洗面コーナー	2.700 ±0 -10	ビニル床シート (SL 厚8)	ステンレス巾木 H=60	A	RC		片壁LGS	耐水合板厚12 + セラミックタイル	RC	(片壁LGS)耐水合板厚12 化粧CSB板厚6	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12					洗面カウンター、鏡、補助手摺、杖用フック	
					B	LGS			耐水合板厚12 + セラミックタイル										
					C	LGS			耐水合板厚12 + セラミックタイル										
					D	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + セラミックタイル											
	女子便所(1)	2.400 ±0 -10	ビニル床シート (SL 厚8)	ステンレス巾木 H=60	A	LGS			耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6	RC	(片壁LGS)耐水合板厚12 化粧CSB板厚6	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12				塩ビ製	トイレブース、補助手摺、ライニング壁 ベビーキープ、杖用フック	
					B	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6											
					C	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6											
					D	LGS(GW厚50・32kg充填)			耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6										
	女子便所(1) 洗面コーナー	2.700 ±0 -10	ビニル床シート (SL 厚8)	ステンレス巾木 H=60	A	RC		片壁LGS	耐水合板厚12 + セラミックタイル	RC	(片壁LGS)耐水合板厚12 化粧CSB板厚6	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12					洗面カウンター、鏡、補助手摺、杖用フック	
					B	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + セラミックタイル											
					C	LGS			耐水合板厚12 + セラミックタイル										
					D	LGS(GW厚50・32kg充填)			耐水合板厚12 + セラミックタイル										
	多目的便所(1)	2.400 ±0 -10	ビニル床シート (SL 厚8)	ステンレス巾木 H=60	A	RC		片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6	RC	(片壁LGS)耐水合板厚12 化粧CSB板厚6	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12				塩ビ製	補助手摺、大型鏡、ユニバーサルシート チェンジングボード、ベビーキープ フック(杖用フック)	
					B	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6											
					C	LGS(GW厚50・32kg充填)			耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6										
					D	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6											
	空調チャンバー	直天 -100 -300	合成樹脂塗床(防塵塗装) 湿式浮床(FU-2) コンクリート厚150 防振ゴム+スタイロフォーム厚50	各面共通	RC				GW厚50(32kg)	RC	GW厚50(32kg)	RC	GW厚50(32kg)	RC	GW厚50(32kg)				
	収納スペース	2.700 +750 +740	ビニル床シート (SL厚8)	ソフト巾木 H=60	A		乾式耐火遮音壁(119)		EP-G	RC	(GL工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5				塩ビ製	壁ガード	
					B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
					C	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
					D		乾式耐火遮音壁(119)	EP-G											
	ピアノ庫	2.700 +750 +740	ビニル床シート (SL厚8)	ソフト巾木 H=60	A		乾式耐火遮音壁(119)		EP-G	RC	(GL工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5				塩ビ製	壁ガード	
					B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
					C	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
					D		乾式耐火遮音壁(119)	EP-G											
	楽屋(1)	2.700 +750 +740	ビニル床シート (SL厚8)	ソフト巾木 H=60	A		乾式耐火遮音壁(119)		EP-G			LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12				塩ビ製	○ ○ 化粧カウンター、化粧鏡、全身鏡 着替えコーナー用カーテン及び吊レール 長押およびフック 洗面カウンター、洗面鏡	
					B		乾式耐火遮音壁(119)	EP-G											
					C	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
					D		乾式耐火遮音壁(119)	EP-G											
	楽屋(2)	2.700 +750 +740	ビニル床シート (SL厚8)	ソフト巾木 H=60	A		乾式耐火遮音壁(119)		EP-G			LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12				塩ビ製	○ ○ 化粧カウンター、化粧鏡、全身鏡 着替えコーナー用カーテン及び吊レール 長押およびフック 洗面カウンター、洗面鏡	
					B		乾式耐火遮音壁(119)	EP-G											
					C	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
					D	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
	男子便所(2)	2.400 +750 +740	ビニル床シート (SL厚8)	ソフト巾木 H=60	A		乾式耐火遮音壁(119)	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6	RC	(片壁LGS)耐水合板厚12	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12				塩ビ製	トイレブース、補助手摺、ライニング壁 ベビーキープ、杖用フック 汚垂石 洗面カウンター、鏡、補助手摺、杖用フック	
					B		乾式耐火遮音壁(119)	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6										
					C	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6											
					D		乾式耐火遮音壁(119)	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6										
	女子便所(2)	2.400 +750 +740	ビニル床シート (SL厚8)	ソフト巾木 H=60	A		乾式耐火遮音壁(119)	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6	RC	(片壁LGS)耐水合板厚12	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12				塩ビ製	トイレブース、補助手摺、ライニング壁 ベビーキープ、杖用フック 洗面カウンター、鏡、補助手摺、杖用フック	
					B		乾式耐火遮音壁(119)	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6										
					C	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6											
					D		乾式耐火遮音壁(119)	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6										
	多目的便所(2)	2.400 +750 +740	ビニル床シート (SL厚8)	ソフト巾木 H=60	A		乾式耐火遮音壁(119)	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6			LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12				塩ビ製	補助手摺、大型鏡、ユニバーサルシート ベビーキープ フック(杖用フック)	
					B		乾式耐火遮音壁(119)	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6										
					C		乾式耐火遮音壁(119)	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6										
					D		乾式耐火遮音壁(119)	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6										
	湯沸室	2.400 +750 +740	ビニル床シート (SL厚8)	ソフト巾木 H=60	A	LGS			EP-G			LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12				塩ビ製	流し台(w1800、吊戸棚(w1800)、水切棚(w900)	
					B		乾式耐火遮音壁(119)	EP-G											
					C		乾式耐火遮音壁(119)	EP-G	流し前:化粧CSB厚6										
					D		乾式耐火遮音壁(119)	EP-G											
	楽屋廊下	2.700 +750 +740	ビニル床シート (SL厚8)	ソフト巾木 H=60	A	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5		EP-G	RC	(GL工法) GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5				塩ビ製		
					B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
					C		対面する室の下地による	EP-G											
					D	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											

■ 内部仕上表 公会堂(3)																			
階数	室名	天井高 床仕上高 スラブ高	床		幅木		壁				柱		天井		梁型		廻縁	ブラインドBOX ブラインド	備考
			仕上	仕上	部位	下地1	下地2	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上					
3階	ホワイエ (スロープ・階段含む)	2,800 ±0 -10 (上フカシ+10)	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧パネル H=100	A	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	LGS	EP-G	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製	○ ○ (パーチカル)	ピクチャーレール		
					B	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
					C	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
					D	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G											
	親子席(1)	2,300 +650 -20	カーペットタイル 耐水合板厚15 木組下地	ソフト巾木 H=60	各面共通	RC	木脚縁	腰 :CSB厚6 EP-G 上部 :有孔CSB厚6 EP-G (GW厚50・32kg充填) 腰 :CSB厚6 EP-G	LGS	EP-G	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製		親子席(1) 椅子 手摺		
	親子席(2)	2,400 +550 -20																親子席(2) 椅子	
	乳児コーナー	2,300 +550 -20	ビニル床シート 耐水合板厚15 木組下地	ソフト巾木 H=60	A	乾式壁 (スラブ下まで)		EP-G			LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製		調乳用温水器、おむつかえシート		
B	乾式壁 (スラブ下まで)		EP-G																
C	乾式壁 (スラブ下まで)		EP-G																
D	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																
女子便所 男子便所	2,400 ±0 -20	ビニル床シート (SL 厚8)	ステンレス巾木 H=60	A	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6	LGS	EP-G	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製		女子便所:洗面カウンター、鏡、トイレブース ベビーキープ、補助手摺 男子便所:洗面カウンター、鏡、トイレブース ベビーキープ、補助手摺 汚垂石			
B	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6																
C	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6																
D	RC	片壁LGS	耐水合板厚12 + 化粧CSB厚6																
前室(1) 前室(2)	2,700 ±0 -20	フローリング厚15 (SL 厚5)	天然木化粧パネル H=100	各面共通	RC	(GL工法)GB-R厚12.5	腰 :CSB厚6 EP-G 上部 :CSB厚6 EP-G	LGS	EP-G	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製					
サイド投光スペース(1) サイド投光スペース(2)は 左右対称	2,600 ±0 ±0	ビニル床シート		A	ホワイエ側					LGS	GB-R厚12+GWB厚50・32kg					器具用受パイプ			
B	外壁側	遮音壁(WU-1)					GWB厚50(32kg)												
C	プロセ側	LGS	GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5				GWB厚50(32kg)												
D	客席側																		
機械室(舞台裏)	直天 +190 -10	合成樹脂塗床 湿式浮床(FU-2) コンクリート厚150 防振ゴム+スタイロフォーム厚50	ソフト巾木 H=60	A	RC		GWB厚50・32kg	RC	GWB厚50	RC	GWB厚50(32kg)								
B							GWB厚50・32kg												
C							GWB厚50・32kg												
D							GWB厚50・32kg												
4階	調整室	3,000・3,100 ±0・+100 -10	帯電防止ビニル床タイル 厚5 (OAフロア) 踏込:ビニル床タイル 厚2.5 (SL 厚8)	ソフト巾木 H=60	A	RC		RC	GWB厚50	LGS	GB-R厚9.5+RWB厚12 EP-G			塩ビ製					
B	RC		GWB厚50・32kg																
C	RC		GWB厚50・32kg																
D	RC		GWB厚50・32kg																
電気室	直天 ±0 -10	帯電防止ビニル床タイル 厚5 (SL 厚5)	ソフト巾木 H=60	A	RC		GWB厚50・32kg	RC	GWB厚50	RC	GWB厚50(32kg)								
B	乾式耐火遮音壁		GWB厚50・32kg																
C	RC		GWB厚50・32kg																
D	RC		GWB厚50・32kg																
調光室	直天 ±0 -10	帯電防止ビニル床タイル 厚5 (SL 厚5)	ソフト巾木 H=60	A	RC		GWB厚50・32kg	RC	GWB厚50	RC	GWB厚50(32kg)								
B	RC		GWB厚50・32kg																
C	乾式耐火遮音壁		GWB厚50・32kg																
D	RC		GWB厚50・32kg																
ホール	3,000 ±0 -10	ビニル床シート (SL 厚8)	ソフト巾木 H=60	A	RC		複層Si	RC	複層Si	LGS	GB-D厚9.5			塩ビ製					
B	RC		複層Si																
C	RC		複層Si																
D	RC		複層Si																
5階	空調機械室	直天 ±0 -10	合成樹脂塗床 (SL 厚10)	ソフト巾木 H=60	A	RC		RC	GWB厚50・32kg	RC	GWB厚50(32kg)								
B	RC		GWB厚50・32kg																
C	RC		GWB厚50・32kg																
D	RC		GWB厚50・32kg																
投光室	2,200 ±0	ビニル床シート	ソフト巾木 H=60	A	LGS	GB-R厚12.5	GWB厚50・32kg	RC	GWB厚50・32kg	LGS	GB-R厚12+GWB厚50・32kg					ピンスポット用転倒防止パイプ ピンスポット車止め金物			
B	LGS	GB-R厚12.5	GWB厚50・32kg																
C	LGS	GB-R厚12.5	GWB厚50・32kg																
D	LGS	GB-R厚12.5	GWB厚50・32kg																
共通	屋内階段室	直天・2,700 ±0 -10	ビニル床タイル (SL 厚8)	ソフト巾木 H=60	A	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G	(段裏) RC (最上階・階の踊り場) LGS GB-R厚9.5+RWB厚12			塩ビ製		段鼻:ステンレス製ノンスリップ(ゴム入) 手摺:タモ集成材			
B	LGS	GB-F厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																
C	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																
D	RC	(GL工法)GB-R厚12.5+GB-R-H厚9.5	EP-G																
階段下倉庫	直天・2,700 ±0 -10	ビニル床シート (SL 厚8)	ソフト巾木	各面	RC														
アラーム弁室	直天 ±0 -10	合成樹脂塗床 (SL 厚10)	ソフト巾木 H=60	各面	RC		素地			RC	素地								
EPS/DS/PS (建具が付くもの)	直天 ±0 -10	合成樹脂塗床 (SL 厚10)	ソフト巾木 H=60	各面	RC		素地			RC	素地								
							乾式壁 (スラブ下まで)												
							乾式壁 (スラブ下まで)												

■注記) 1.壁仕上げ欄のA,B,C,Dは、平面詳細図に記載の展開方向による。
2.壁仕上げ下地欄に記載の壁仕様は、部分詳細図(1)による。

管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市 建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/200 A3=1/300	図面名称 内部仕上表(3)
設計者 株式会社 国設計	図面番号 A-020	図面枚数 A-020



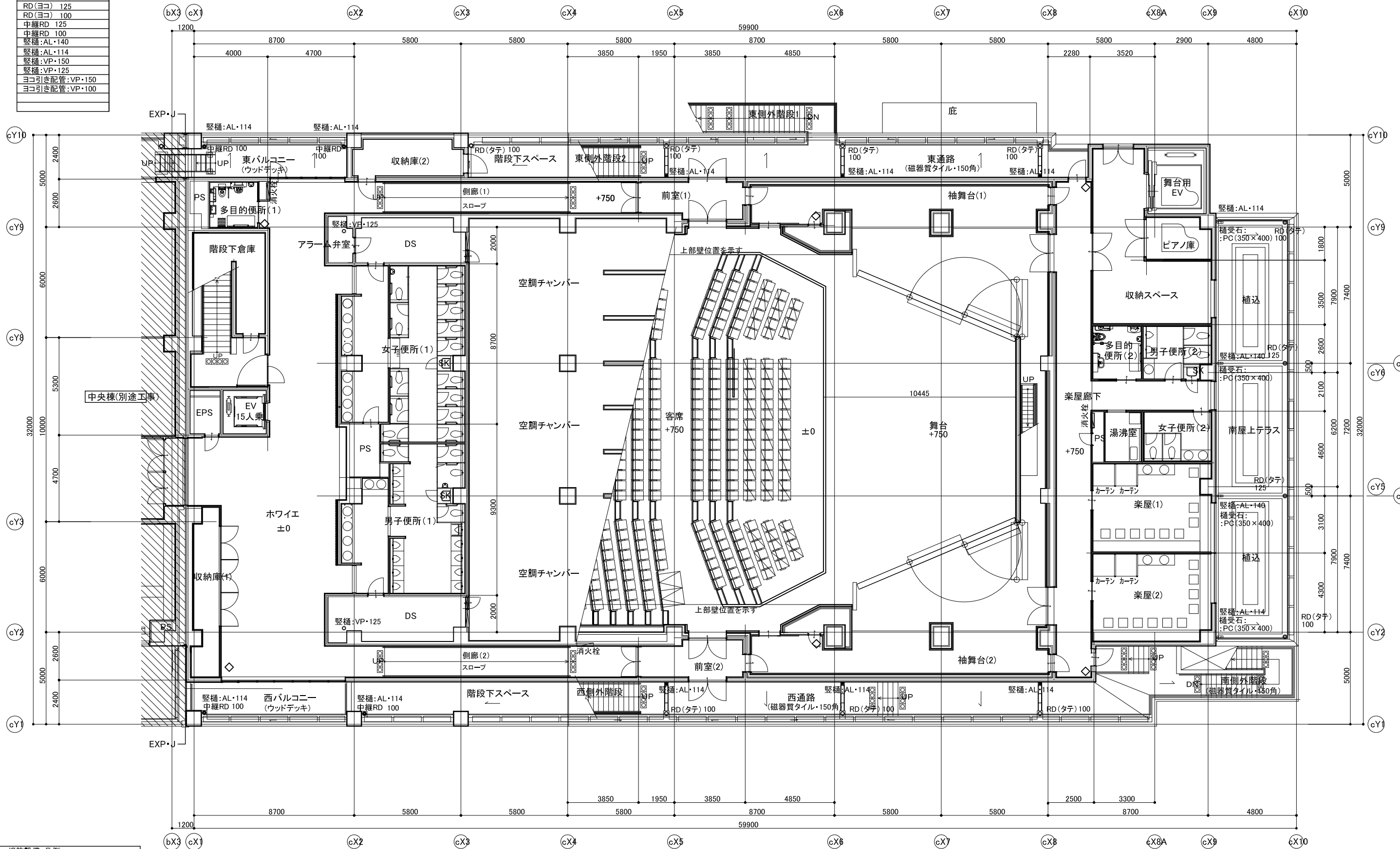
配管ピット内の雨水配管は別途工事(設備工事)
(土中埋設の雨水配管は建築工事)

凡例	
	埋戻し
消防設備: 凡例	
	消火ボックス(置型)
	屋内消火栓(消火器一体型)(別途工事)
	連結送水管 放水箱(別途工事)
	避難器具(縦降機)
	人通孔600φ 両側握りバー SUS 22φ付
	通水パイプ 硬質塩ビ製 100φ 半割

■注記	管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
年月日 平成28年5月	縮尺 A1=1/100 A2=1/200	図面名称 ピット平面図	図面枚数 1/2
設計者 株式会社 国設計	施番番号	棟番	図番 A-021

雨水排水設備関係リスト

RD(タテ) 125
RD(タテ) 100
RD(ヨコ) 125
RD(ヨコ) 100
中継RD 125
中継RD 100
縦樋:AL-140
縦樋:AL-114
縦樋:VP-150
縦樋:VP-125
ヨコ引き配管:VP-150
ヨコ引き配管:VP-100

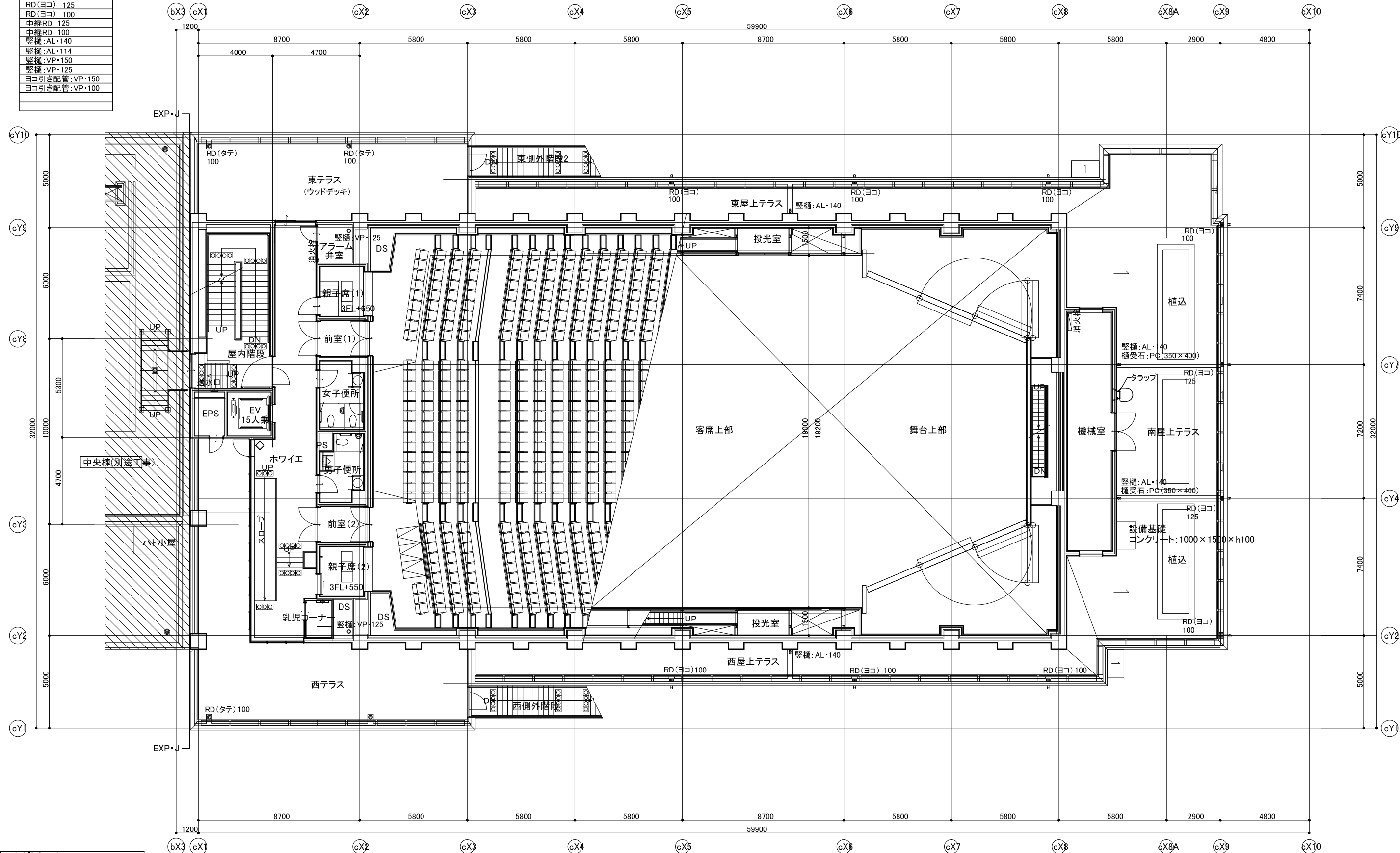


消防設備: 凡例

◇	消火ボックス(置型)
■	屋内消火栓(消火器一体型)別途工事
■	連結送水管 放水箱(別途工事)
◆	避難器具(緩降機)

雨水排水設備関係リスト

RD(タテ) 125
RD(タテ) 100
RD(ヨコ) 125
RD(ヨコ) 100
中継RD 125
中継RD 100
縦樋:AL・140
縦樋:AL・114
縦樋:VP・150
縦樋:VP・125
ヨコ引き配管:VP・150
ヨコ引き配管:VP・100

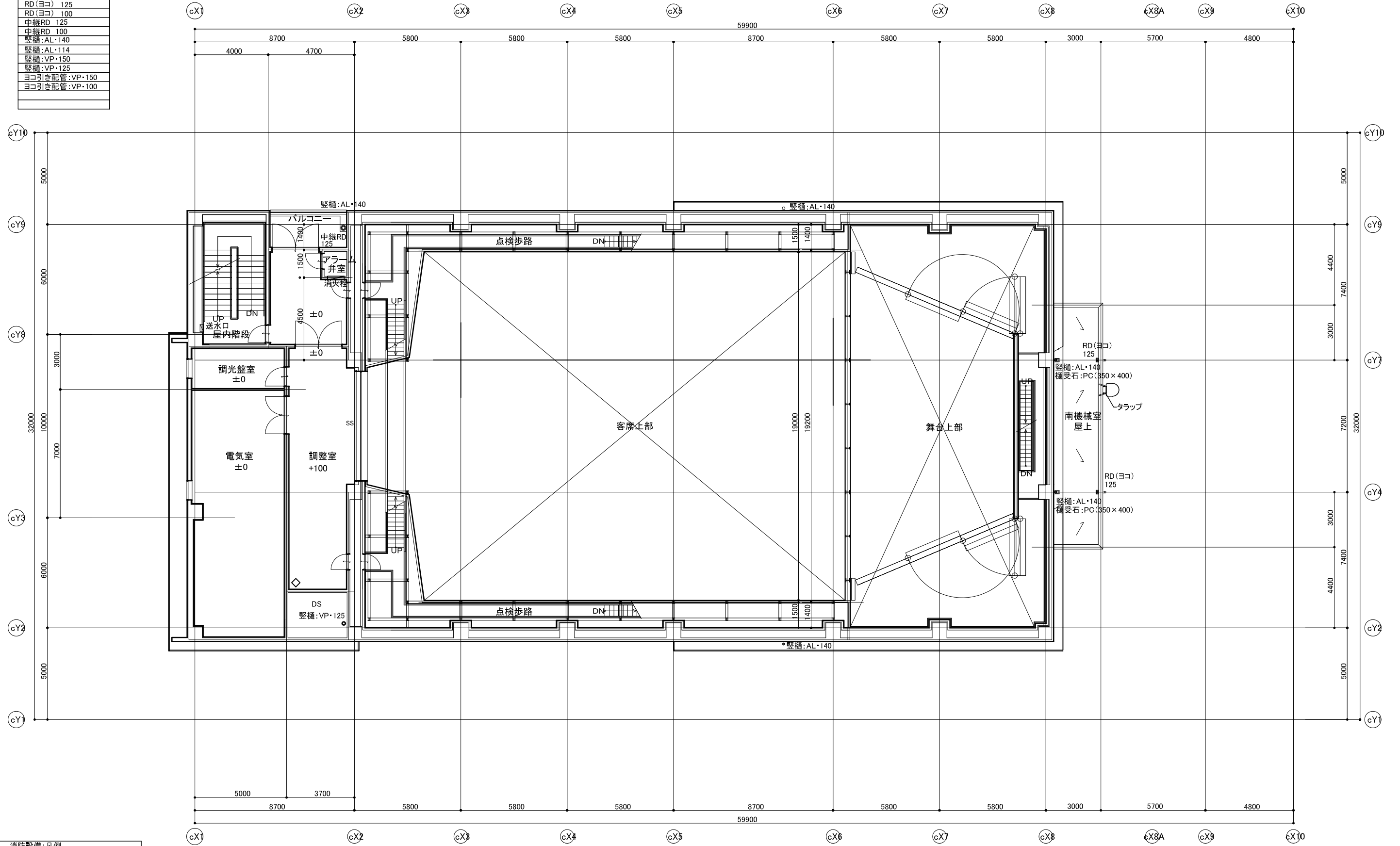


消防設備:凡例

◇	消火ボックス(筒型)
■	屋内消火栓(消火器一体型)別途工事
■	連結送水管 放水箱(別途工事)
◆	避難器具(緩降機)

雨水排水設備関係リスト

RD(タテ) 125
RD(タテ) 100
RD(ヨコ) 125
RD(ヨコ) 100
中継RD 125
中継RD 100
縦樋:AL・140
縦樋:AL・114
縦樋:VP・150
縦樋:VP・125
ヨコ引き配管:VP・150
ヨコ引き配管:VP・100



消防設備:凡例

◇	消火ボックス(蓋型)
■	屋内消火栓(消火器一体型)別途工事
■	連結送水管 放水箱(別途工事)
◆	避難器具(緩降機)

■注記

管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/100 A3=1/200	図面名称 4階平面図
設計者 株式会社 国設計	図面番号 A-025	

